

# 経営の基本方針と取組施策

## 中長期の投資・財政試算について

近江八幡市 水道事業所上下水道総務課

# 目次

1 前回の振り返り	2
2 下水道事業の基本方針と経営目標について	5
3 今後の取組施策について	8
4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件	12
5 投資・財政計画(案)について	24
6 原価計算について	43
7 今後のスケジュール	45
参考資料	47

# 1 前回の振り返り

# 1 前回の振り返り

- 経営の現状分析では、使用料単価が150円/m<sup>3</sup>よりも低く、経費回収率は100%を下回っています
- 繰入金比率が高いことから、下水道事業の経営が繰入金に依存している状況です
- また、流動比率も20%程度の水準であり、日常的な資金繰りにも課題があります
- 上記に加えて、将来の事業環境は下水道事業の経営に厳しいものになる見込みとなっています
  - ①人口減少による使用料収入の減少
  - ②近年の物価高騰および流域の管理運営負担金単価の改定による維持管理費や工事費の増加
  - ③現時点では供用開始から50年が経過していないため、更新投資の必要性は高くありませんが、沖島は令和14年度、公共下水道では令和18年度以降、更新投資需要が高まっていきます
- そのため、**将来の確実な更新投資と安定的な事業継続に向けて、投資・財政計画を見直し、投資・財政計画の結果を踏まえて使用料改定を含めた検討が必要な状況です**

## 第2回 検討事項

### 基本方針と経営目標

- ✓ 下水道審議会での意見
  - ✓ 上記の経営課題 など
- を踏まえて、取組施策を検討し、投資・財政計画を策定

### 取組施策

- ✓ これまでに実施してきた経営健全化の取組
- ✓ 今後実施予定もしくは実施を検討する取組

### 投資・財政計画

- ✓ 主な前提条件
  - 【財源】使用料、企業債、繰入金
  - 【投資】建設改良費
- ✓ 投資・財政計画と課題
- ✓ 経営目標を達成するための使用料改定率

使用料改定の  
必要性の  
検討

# 1 前回の振り返り

➤ 前回いただいた意見を踏まえて、経営戦略の改定及び投資・財政計画の見直しを実施します

前回の主な意見	対応
■将来の更新投資について 将来の更新投資に備えた対策を講ずるべき。	ストックマネジメント計画の定期的な見直しや優先順位を考慮した短期的な投資計画を策定していきます。 また、使用料改定や経費削減等の取組を通じて、将来の確実な投資の実施のため、計画的な資金確保に努めていきます。
■管理運営負担金単価の引き上げについて 流域下水道の管理運営負担金の値上げを考慮した財政計画を策定すべき。	正確な改定率は未定ではあるものの、令和8・9年度の単価は約20%増、令和10年度は約10%増の単価で、流域下水道の管理運営負担金の値上げを投資・財政計画に反映しています。なお、現時点では未定ではあるものの、令和13年度の管理運営負担金の値上げの可能性を踏まえて、令和13年度にも10%増の単価を投資・財政計画に、見込んでいます。
■経費の負担区分と繰入金の抑制について 使用料で費用を回収していく必要があり、一般会計からの繰入金を抑えていくため、今後の取組を計画すべき	一般会計からの繰入金に依存しすぎず、使用料で費用を回収でき、資金残高が枯渇しないよう、使用料改定を含め、投資・財政計画を策定します。

## 2 下水道事業の基本方針と経営目標について

## 2 下水道事業の基本方針と経営目標について

### 下水道事業の基本方針

- 下水道事業では、以下3つの基本方針を掲げ、事業運営を行っていきます

基本方針	内容
持続的な財政運営	今後も安定して持続的な財政運営を行うために、収支の黒字化や内部留保資金の確保に努めます。そのために、長期的な投資額や維持管理費を適切に見積もった上で、使用料改定や繰入金のルール化について検討します。
水洗化の促進	今後も下水道接続の啓発に取り組み、水洗化率の向上に努めます。
計画的な施設管理	下水道事業のストックマネジメント計画に基づき、長寿命化や更新等適正な施設管理を行い、経費削減に努めます。 管きょ総延長388kmのうち、重要管路と位置付けた約78kmの点検・調査を重点的に行っています。

## 2 下水道事業の基本方針と経営目標について

### 財政及び投資の目標

- 将来にわたる生活衛生や自然環境の保全のために、経営基盤となる財源に関する目標を下表のとおり、設定しました
- 経常収支比率については、毎期黒字を確保する観点から、目標数値を100%以上と設定しました
- 内部留保資金については、安定した財政運営の観点から、目標数値を収益的支出の半年分+災害等予備分(公共:9.5億円、農集:0.2億円)と設定しました
- 経費回収率については、収益性確保の観点から、目標数値を公共:100%、農集:R6実績以上と設定しました
- 施設に関しては、計画的なポンプ等の更新と管路調査を実施することで、下水道事業の安定的な継続に努めます

指標名		達成時期	将来目標 (公共)	R6実績 (公共)	将来目標 (農集)	R6実績 (農集)
財政	経常収支比率	毎年	100.0%以上	102.5%	100.0%以上	105.0%
	内部留保資金	R17	9.5億円以上	2.2億円	0.2億円以上	0.2億円
	経費回収率	毎年	100.0%以上	97.4%	R6実績以上	50.8%

指標名		達成時期	将来目標 (公共+農集)	R6実績 (公共+農集)
施設	水洗化率	R17	95.2%	90.9%
	マンホールポンプ更新数	毎年	7箇所	3箇所
	管路点検・調査延長	毎年	26.0km	8.3km



### 3 今後の取組施策について

### 3 今後の取組施策について

#### 経営健全化の取組(1/2)

- 安定した経営を実現していくため、これまで本市下水道事業では、以下の取組みを実施してきました
- これまでの取組みを踏まえ、今後も下水道事業の健全な経営を図るため、以下の取組みを進めていくことにより、費用縮減・収益増加に努めていきます

#### 【投資に関する主な取組内容】

これまでの 主な取組み	内容	今後の取組／実績(効果)
最適化	令和元年度末現在、処理区域内にコミュニティプラントは10地区あり、うち2地区を本計画期間中に公共下水道へ接続、切り替える予定です。残りの8地区については地区住民の意向の確認等現状の把握に努め、適宜計画に反映していきます。	●実績 R3 北馬淵上田地区 92戸 R4 中小森大和団地 24戸 ●予定 R9 古川町光ヶ丘団地 約250戸 ※R7～8にかけて接続工事中
投資の平準化	ストックマネジメントによる管路内調査などを実施し、劣化状況に応じて更新時期を個別に設定し、より適切な施設管理に努めます。	●実績 直近7年間で約40kmの点検を行いました。 管渠老朽化率も現状は0%を維持しています。 ●予定 計画的に点検を行って劣化状況を把握し、適切な改築更新を進めます。

### 3 今後の取組施策について

#### 経営健全化の取組(2/2)

##### 【財源に関する主な取組内容】

これまでの主な取組み	内容	今後の取組／実績(効果)
使用料の見直し	今後も投資・財政計画を継続的にフォローアップすることにより、適切な料金水準について適宜精査します。	今回の経営戦略の見直しを通じて、使用料改定の必要性について検討します。
その他の取組	水洗化促進のための取組を継続し、他事業体における取組についても情報収集して、水洗化率の向上を図り、収入増加に繋がります。また、併せて基準外繰入の削減についても検討していきます。	啓発ポスターの掲示や、街頭でのビラ配布を実施しました。結果、水洗化率はR2年度89.4%からR6年度90.9%まで向上しました。今後も水洗化率の向上に努めます。

##### 【投資以外の経費に関する主な取組内容】

これまでの主な取組み	内容	今後の取組／実績(効果)
職員給与費	本計画の中では現状程度の職員数を維持するものとしていますが、将来においては技術継承や非常時体制の確保、民間委託費との兼ね合いも考慮しつつ、適正な職員数を検討します。	現状程度の職員数を維持する方針としていますが、技術継承や非常時体制の確保、今後の適切な維持管理・更新のために、適正な職員数を検討します。

### 3 今後の取組施策について

#### 新規の取組について

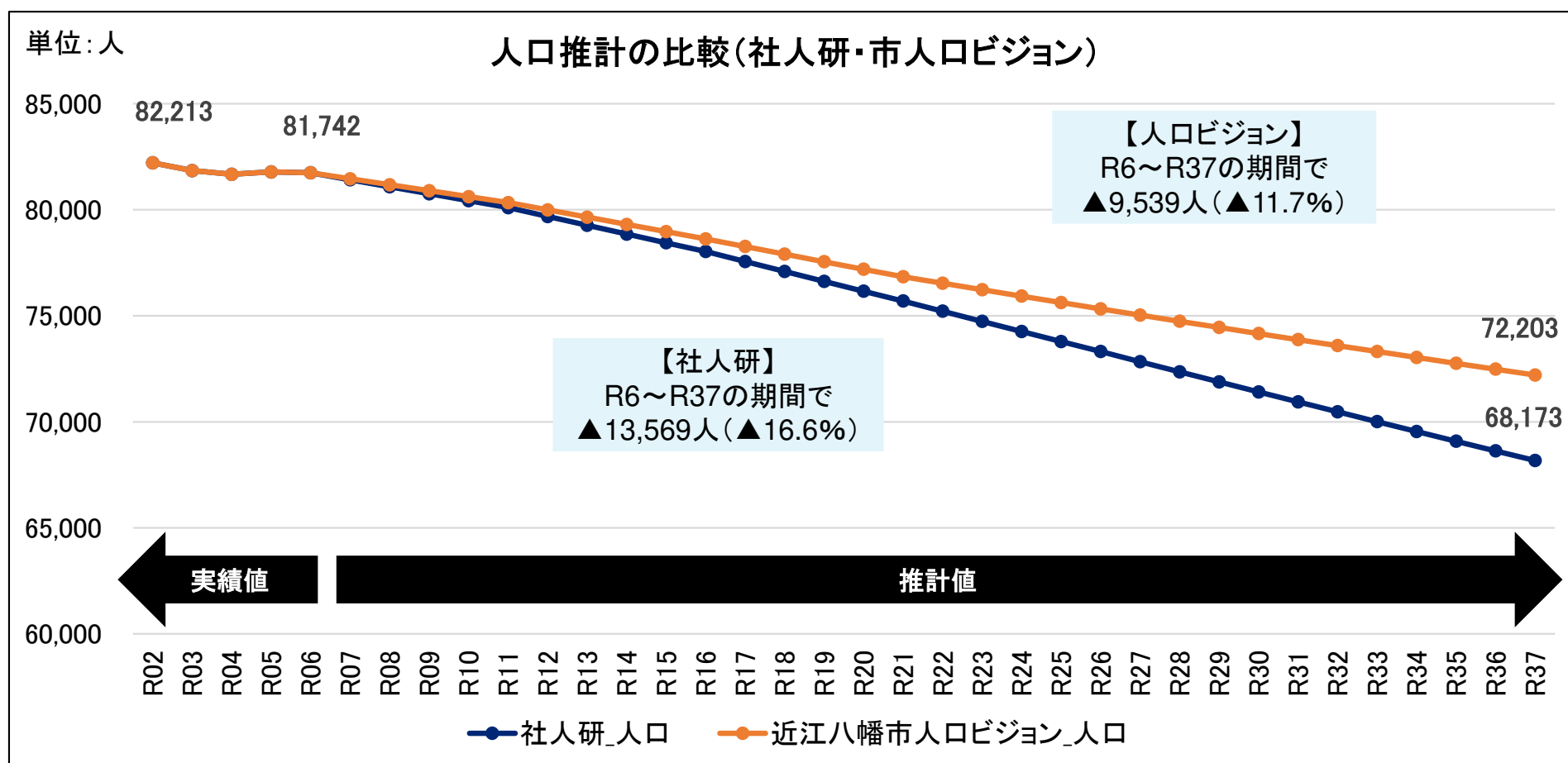
取組み	内容
GX	<p>近江八幡市の公共下水は、滋賀県が管理運営する湖南中部流域下水道で処理していますが、滋賀県・近隣市町と連携して下水汚泥の燃料化施設の整備を進めています。</p> <p>これまで、下水処理の過程で生じる汚泥は焼却処分していましたが、汚泥からバイオガス・固形化燃料を製造する施設を整備し、汚泥エネルギーの有効活用、化石燃料の使用低減を推進します。</p>
DX	<p>県内他市町と連携して、会計システムの統一化に取り組みます。システムの利用団体が増加することで、システムの調達コストや維持管理コストの低減が見込めるほか、経理事務が均一化することにより、団体間の情報連携の強化が見込まれます。また、将来的に経理事務の広域処理体制が構築されれば、団体間で人員を融通するといったことも可能になります。</p> <p>令和6年度より、小口径管路の点検に自立自走型のドローンを使用する手法を採用しています。従来はマンホールに作業員が入って調査しており、調査時の交通規制、作業人員、日数の確保が必要でしたが、ドローンの活用により、少人数で安全に、より低コストの調査が可能になっています。</p> <p>また、大口径管路においては、高画素カメラを使用した詳細調査を採用する予定です。従来より高性能なカメラを使用することで、調査結果の高精度化が見込まれ、下水道の安全性向上につながります。</p>
広域化・共同化の検討	<p>経営の効率化のため、業務の共同発注などを検討するとともに、災害時の協働も含めて、近隣市町や県内事業体との広域連携について、様々な広域連携の研究を進めます。</p> <p>まずは、段階的な広域化・共同化を進める中で、管路調査や水質調査等の委託業務の共同発注、宅内排水設備指定工事店の登録申請事務の共同化に向けた検討を進めていきます。</p>
民間活力導入の検討	<p>更なる経営の効率化のため、管路施設等でのW-PPP導入など、民間的経営手法を活用する検討を行っていきます。W-PPPの導入可能性調査を実施し、導入時のメリット・デメリット、住民サービスへの影響等について、他自治体の事例や運用状況等を整理して、本市に最適な手法を構築します。</p>

## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

### 人口推計

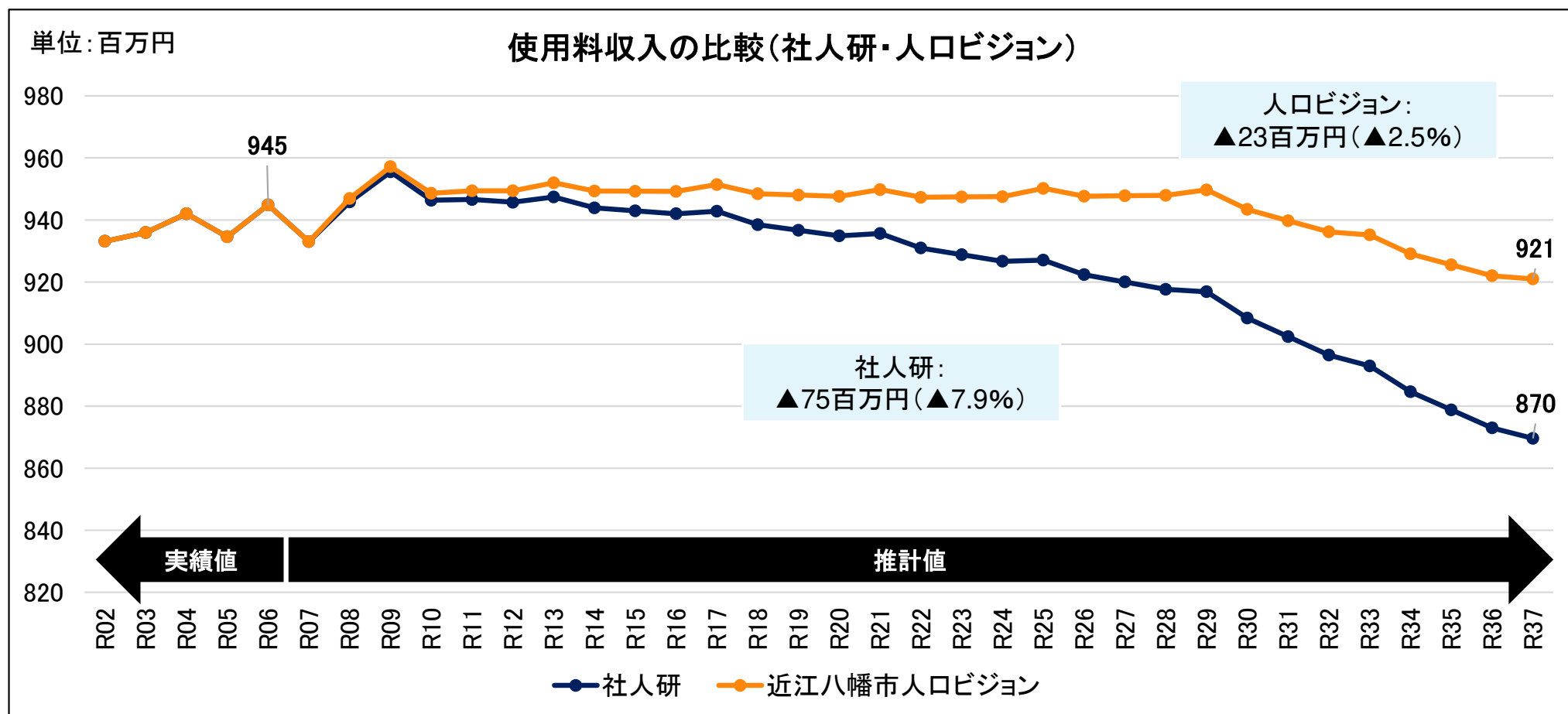
- 国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の将来人口推計における増減率および本市策定の人口ビジョンにおける増減率と本市における直近の水洗化人口の数値を用いて、水洗化人口の将来推計を実施しました
- 実績人口の推移等を踏まえて人口ビジョンの将来推計を投資・財政計画の推計値として採用しました



## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

### 【公共】収入の予測

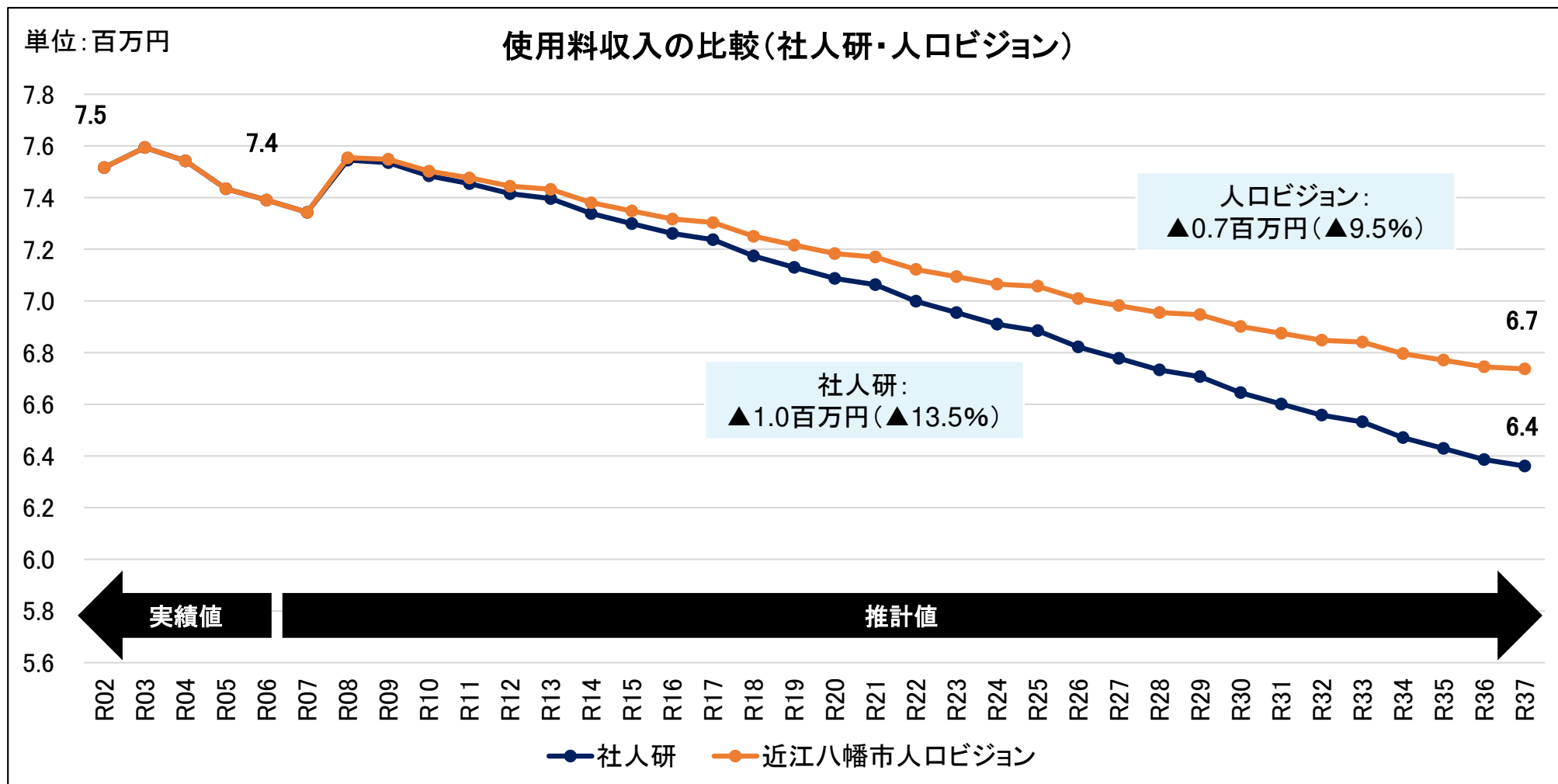
- 前ページの人口の将来推計を用いて、使用料収入の将来推計を実施しました
- 人口が減少する一方で水洗化率の上昇を見込むため、使用料収入の減少は人口減少よりも緩やかとなっています



## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

### 【農集】収入の予測

- 前ページの人口推計を用いて、使用料収入の将来推計を実施しました
- 公共下水道と同様に、人口の減少に伴って、使用料収入も減少していく見込みです

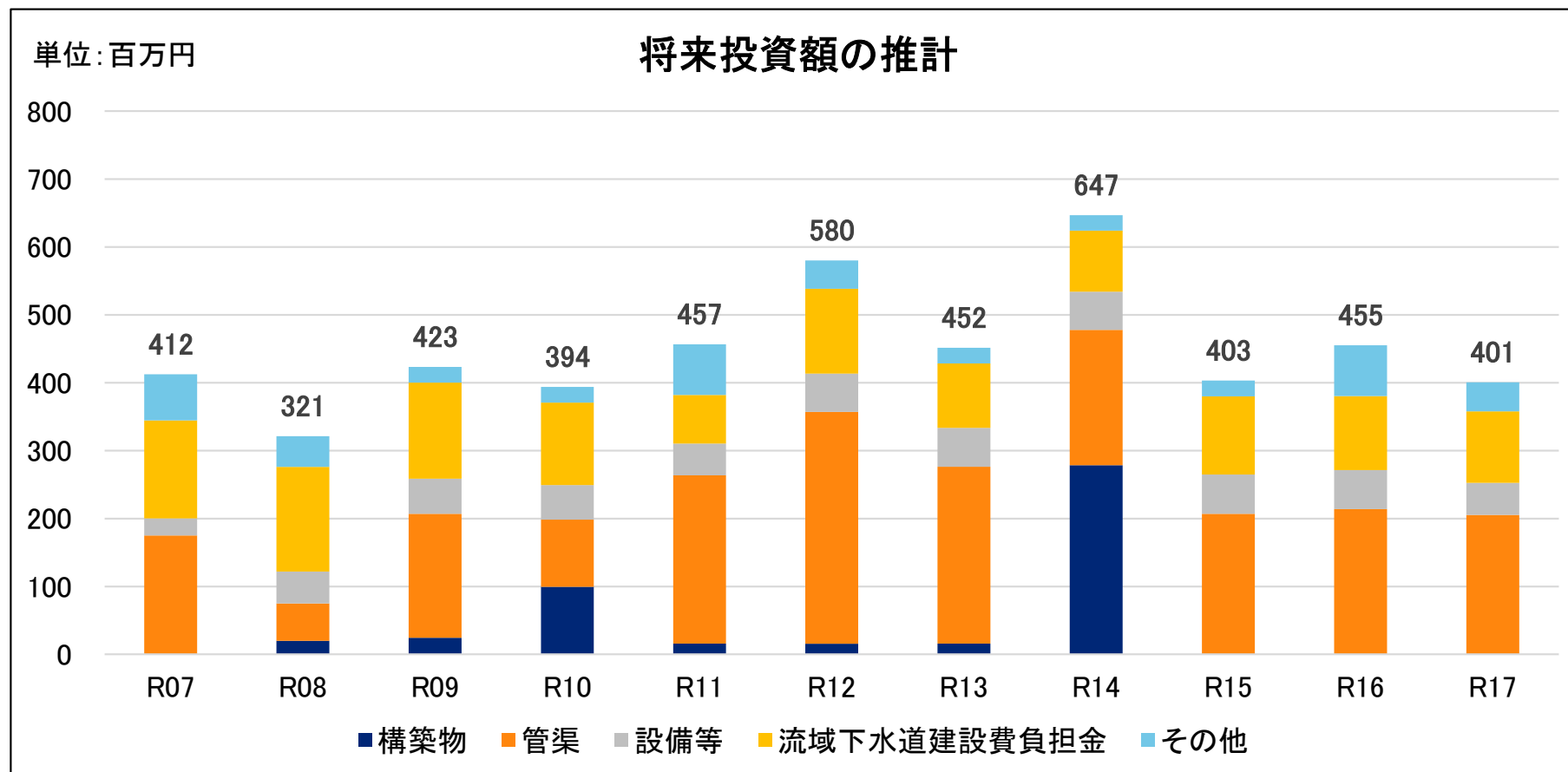




## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

### 【公共】更新投資の推計

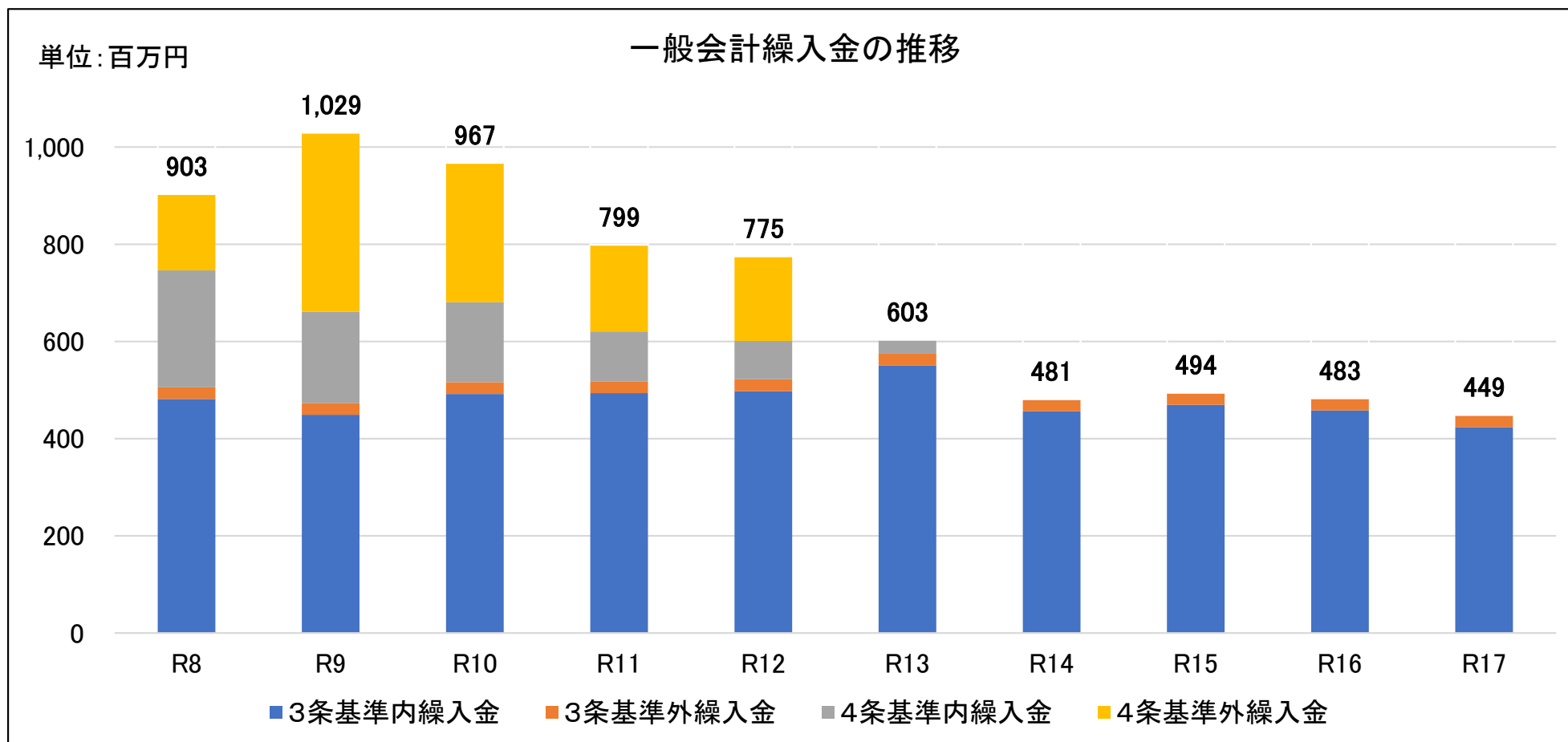
- 投資計画に基づき、更新投資額を推計した結果は下記のとおりです
- 令和7年度以降、毎年約4億円前後の水準で投資を実施し、令和17年度までの累計で49億円の投資が必要となる見込みです



## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての前提条件

### 【公共】一般会計繰入金の推移

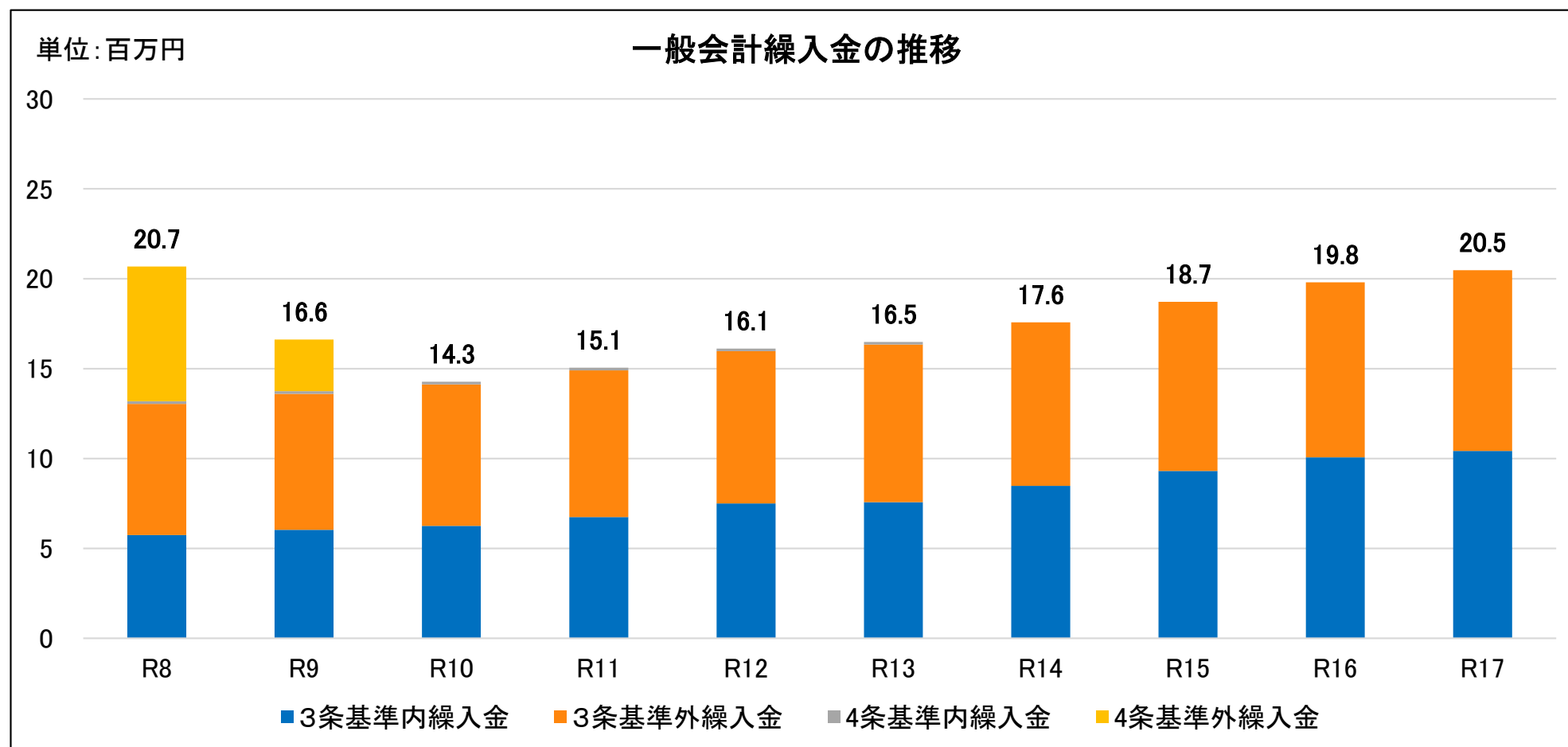
- 毎年7億円前後の繰入金をもらう見込みとなりました
- 繰入金の額は、交付税算定対象の企業債償還金に依存するため、企業債償還のピークを超えると、一般会計からの繰入金も減少していきます
- その一方で、物価高騰や流域下水道の管理運営負担金の改定など、維持管理費は増加することが見込まれるため、下水道事業の経営は厳しくなることが予想されます



## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

### 【農集】一般会計繰入金の推移

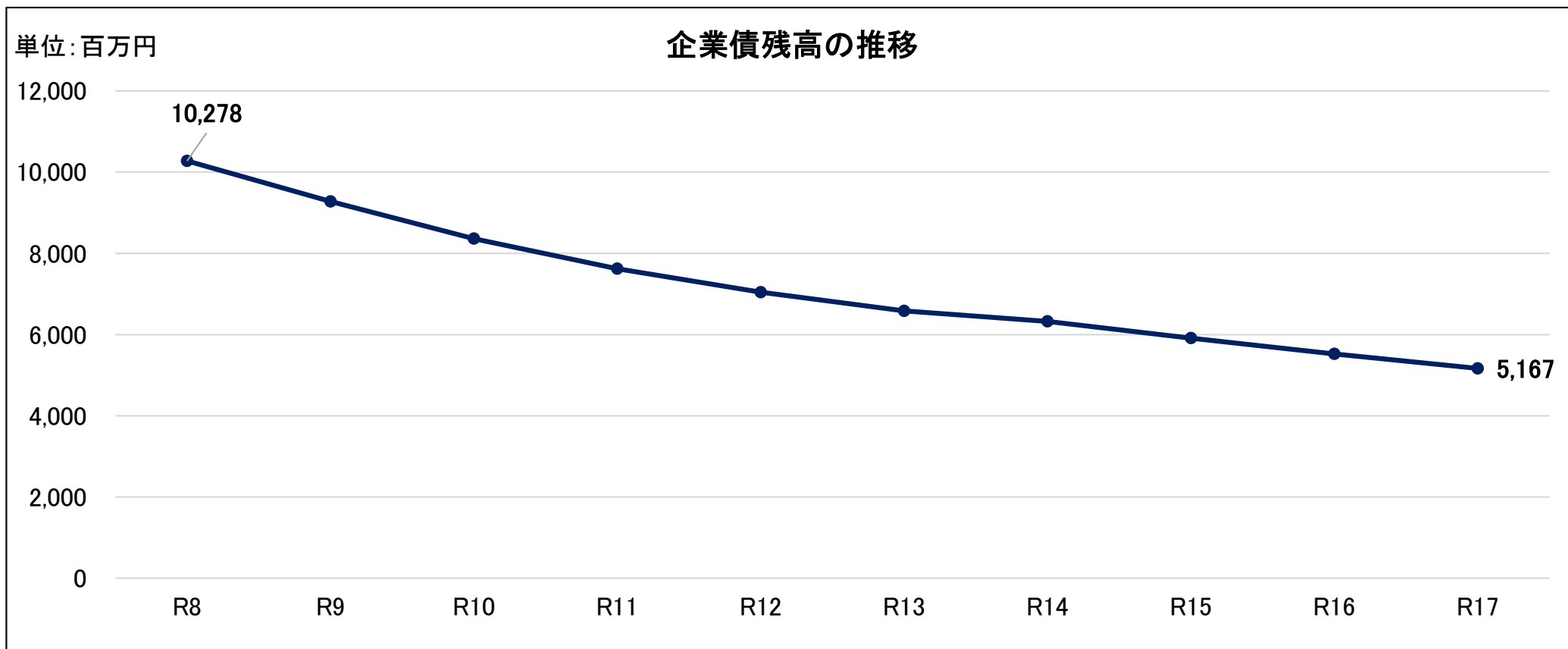
- 毎年0.2億円前後の繰入金をもらう見込みとなりました
- 農業集落排水では、使用料で維持管理費をまかなえていないため、赤字を埋めるための基準外の繰入金が増加していく見込みとなっています



## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

### 【公共】企業債残高等の推移

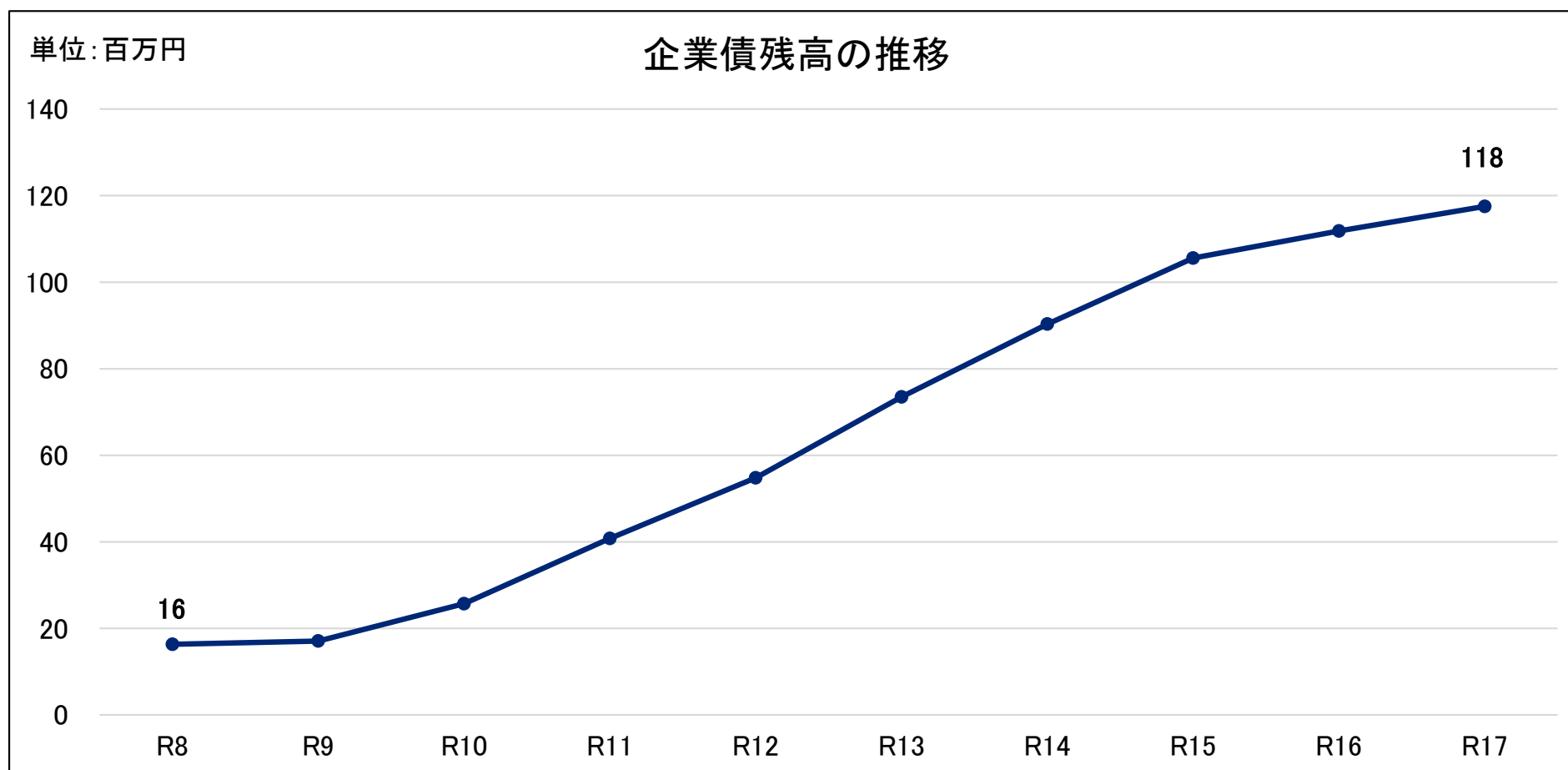
- 企業債残高は令和8年度の102億円をピークとして、減少していく見込みとなりました
- しかしながら、供用開始から50年が経過し、更新投資が始まると企業債残高は増加していくことが見込まれます



## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

### 【農集】企業債残高の推移

- 企業債残高は令和17年度の1.2億円まで増加する見込みです
- 農業集落排水では、処理場等の更新投資が発生する見込みであることから、企業債残高が増加しています



## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

### 収益的収支の前提条件(1/2)

項目	公共	農集
使用料収入	使用料収入＝年間有収水量×使用料単価(直近実績) 年間有収水量：一般排水と特定排水で推計 ー年間有収水量(一般排水)＝1人1日当たり有収水量(直近実績)×水洗化人口 ー水洗化人口＝行政区域内人口(社人研推計)×普及率(直近実績)×水洗化率 ー水洗化率＝公共：過去の水洗化率の平均増減率で100%になるまで推計 農集：直近実績を横引き	
雨水処理負担金	資本費相当分	見込まない
その他営業収益	直近実績	見込まない
他会計補助金	<b>【基準内】</b> 水質規制費(直近実績)、水洗便所普及費(直近実績)、不明水処理費(直近実績)、高度処理費(新規分見込む)、流域建設負担金(新規分見込む)、児童手当、補正予算債、地方公営企業法適用債、分流式 <b>【基準外】</b> 使用料単価150円/㎡に満たない分の収益相当額、沖島特定環境保全公共下水道の3条収支不足額	<b>【基準内】</b> 高度処理費、分流式 <b>【基準外】</b> 損益補填として算定
長期前受金戻入	既存資産＋新規投資分(国庫補助・工事負担金)	
その他営業外収益	直近実績	直近実績

## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての前提条件

### 収益的収支の前提条件(2/2)

項目	公共	農集
人件費	直近実績に人件費上昇率(1.2%)を加味して推計 ※人件費上昇率は、滋賀県の行政職の過去3年の平均給与の増減率を使用	
流域下水道 管理運営負担金	令和8年度から新単価を使用して、一般排水と 特定排水の処理水量の予測に基づき推計	該当なし
減価償却費	既存資産＋新規投資分	
その他営業費用	直近実績に物価上昇率(2%)を加味して推計 ※物価上昇率は、内閣府の「中長期の経済財政に関する試算」の成長実現ケースを参考に設定	直近実績に物価上昇率(2%)を加味して推計
支払利息	既存分＋新規発行 ※新規発行は、建設改良債は5年据置・25年の元利均等償還(利率2.5%)、 資本費平準化債は3年据置・17年の元金均等償還(利率2.5%)	
その他営業外費用	直近実績	

## 4 投資・財政計画(案)策定にあたっての主要な前提条件

### 資本的収支の前提条件

項目	公共	農集
企業債収入	建設改良債:投資計画に基づき起債 資本費平準化債:単年度資金収支不足分に充当	
他会計補助金	<b>【基準内】</b> 雨水処理費(用地+元金償還不足分、新規分見込む)、流域建設負担金総額の40%(新規分見込む)、普及特別対策、緊急下水道整備、補正予算債、地方公営企業法適用債 <b>【基準外】</b> 地方交付税の基準財政需要額から3条他会計補助金と4条基準内他会計補助金を除いた額	<b>【基準内】</b> 高度処理(用地) <b>【基準外】</b> 4条資金不足額(損益勘定留保資金を控除)
国庫補助金	更新投資のうち、国庫補助充当相当額	更新投資のうち、国庫補助充当相当額
建設改良費	新規投資+更新投資	更新投資
企業債償還金	既存分+新規発行分(建設改良債、資本費平準化債)	

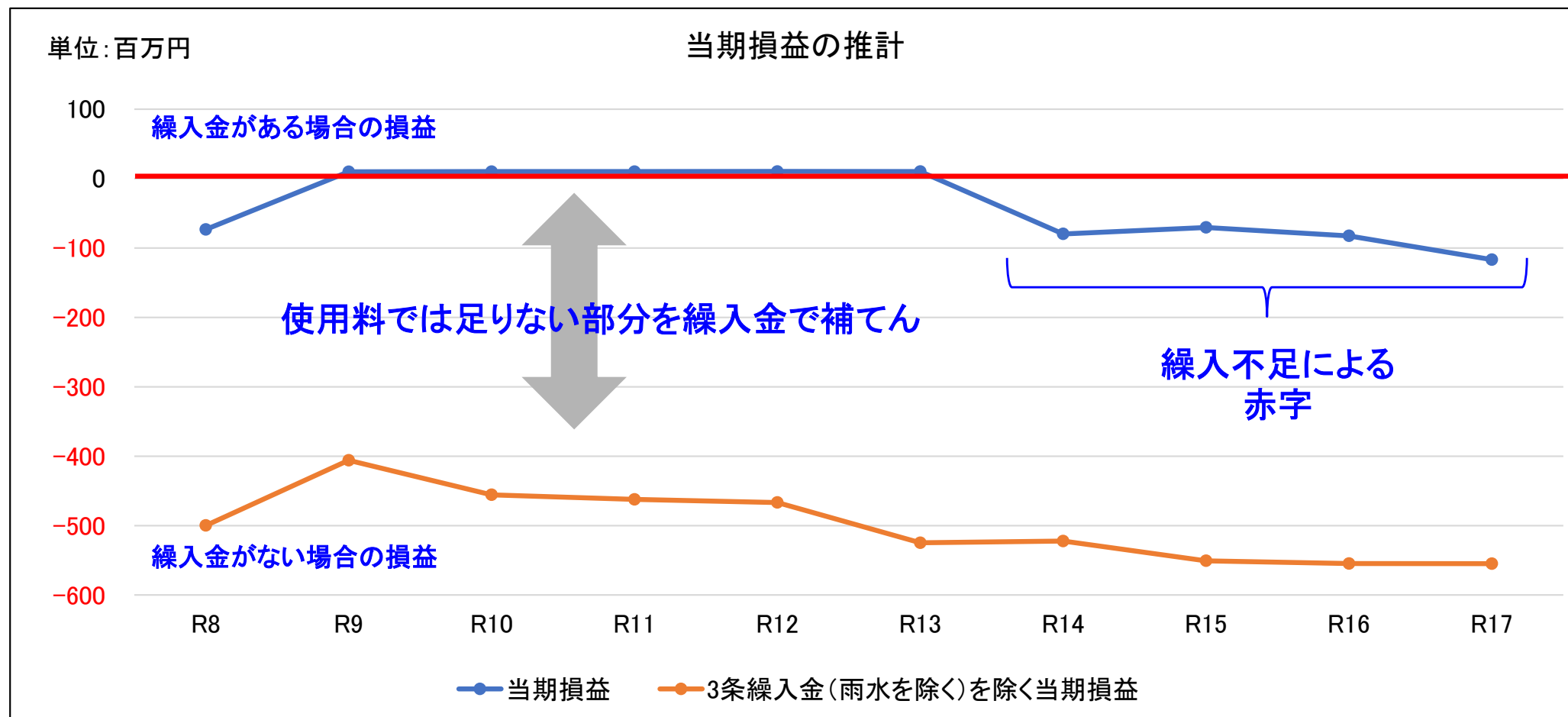


## 5 投資・財政計画(案)について

## 5 投資・財政計画(案)について

### 【公共】当期損益の推計(現状の見通し)

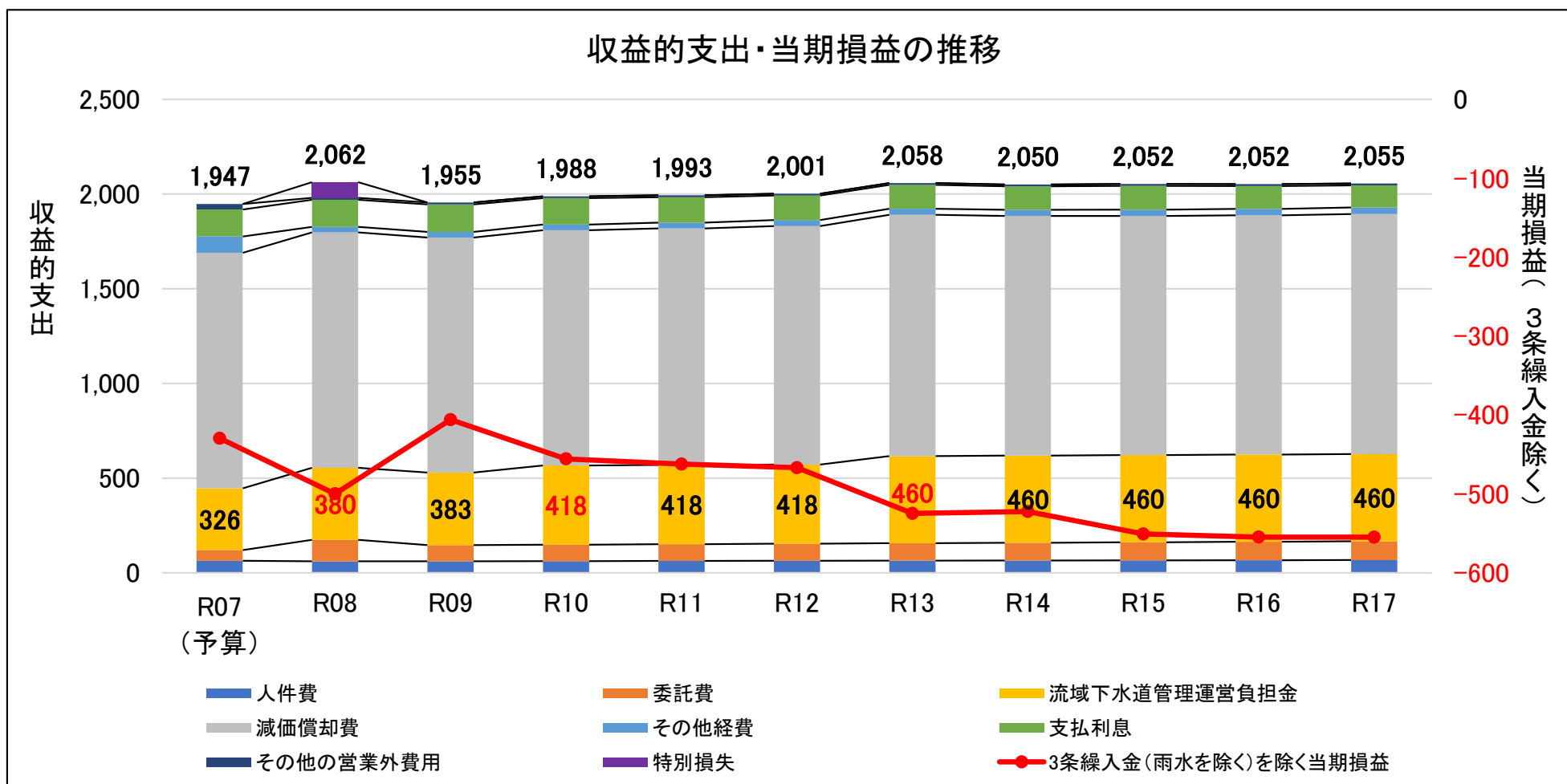
- 当期損益の推計は、繰入金をもらっていることから、令和9年度から13年度までは黒字の見込みです
- 令和14年度以降は、交付税基準で算定した繰入金で費用を補填しきれないため、赤字となる見込みです



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【公共】収益的支出の推計(現状の見通し)

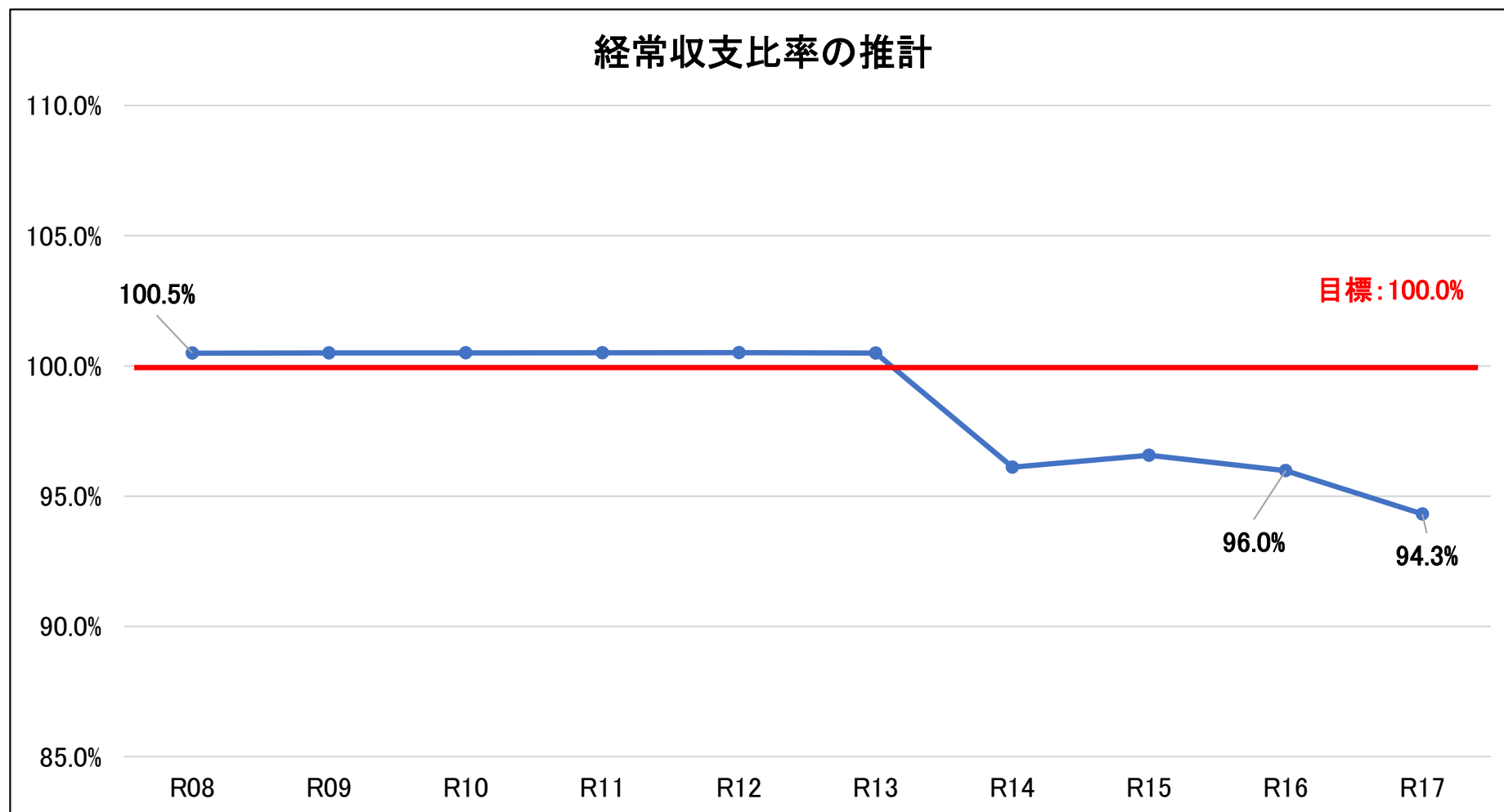
- 流域下水道管理運営負担金の単価改定(令和8年度20%増、令和10年度・令和13年度にそれぞれ10%増)の影響により、繰入金を除く当期損益は減少しています
- なお、令和8年度は、特別損失で83百万円の計上があるため、一時的に大きく損益が悪化しています



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【公共】経常収支比率の推計(現状の見通し)

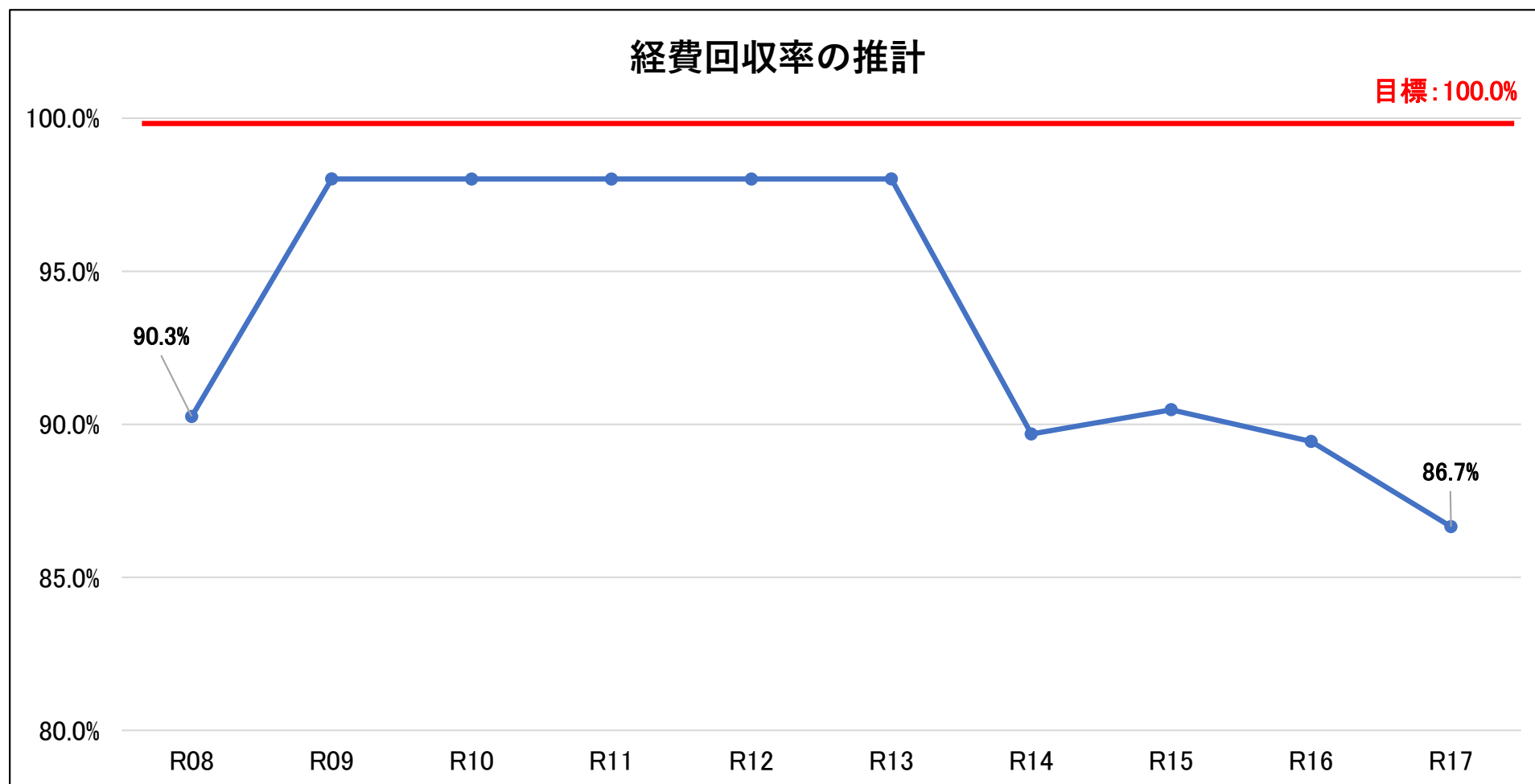
- 現状の見通しでは、令和13年度までは繰入金があるため、100%程度の水準で推移する見込みです
- 令和14年度以降、繰入金が減少しているため、財源目標である100%を下回る見込みです



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【公共】経費回収率の推計(現状の見通し)

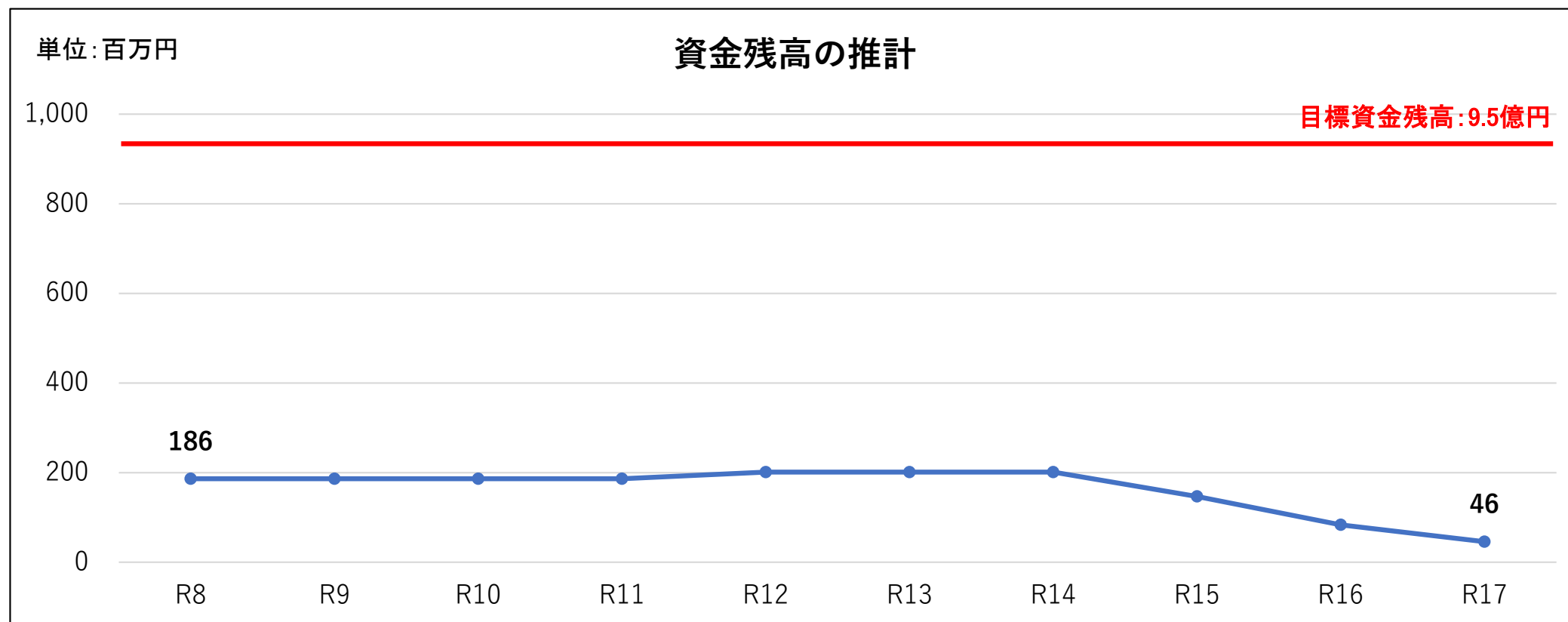
- 現状の見通しの試算では、経費回収率は令和8年度以降、財源目標である100%を下回る見込みとなりました
- 経費回収率が100%未満であることから、汚水処理に係る費用を使用料で回収できておらず、一般会計からの繰入金が増加する令和14年度以降は、悪化していくことが見込まれます



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【公共】資金残高の推計(現状の見通し)

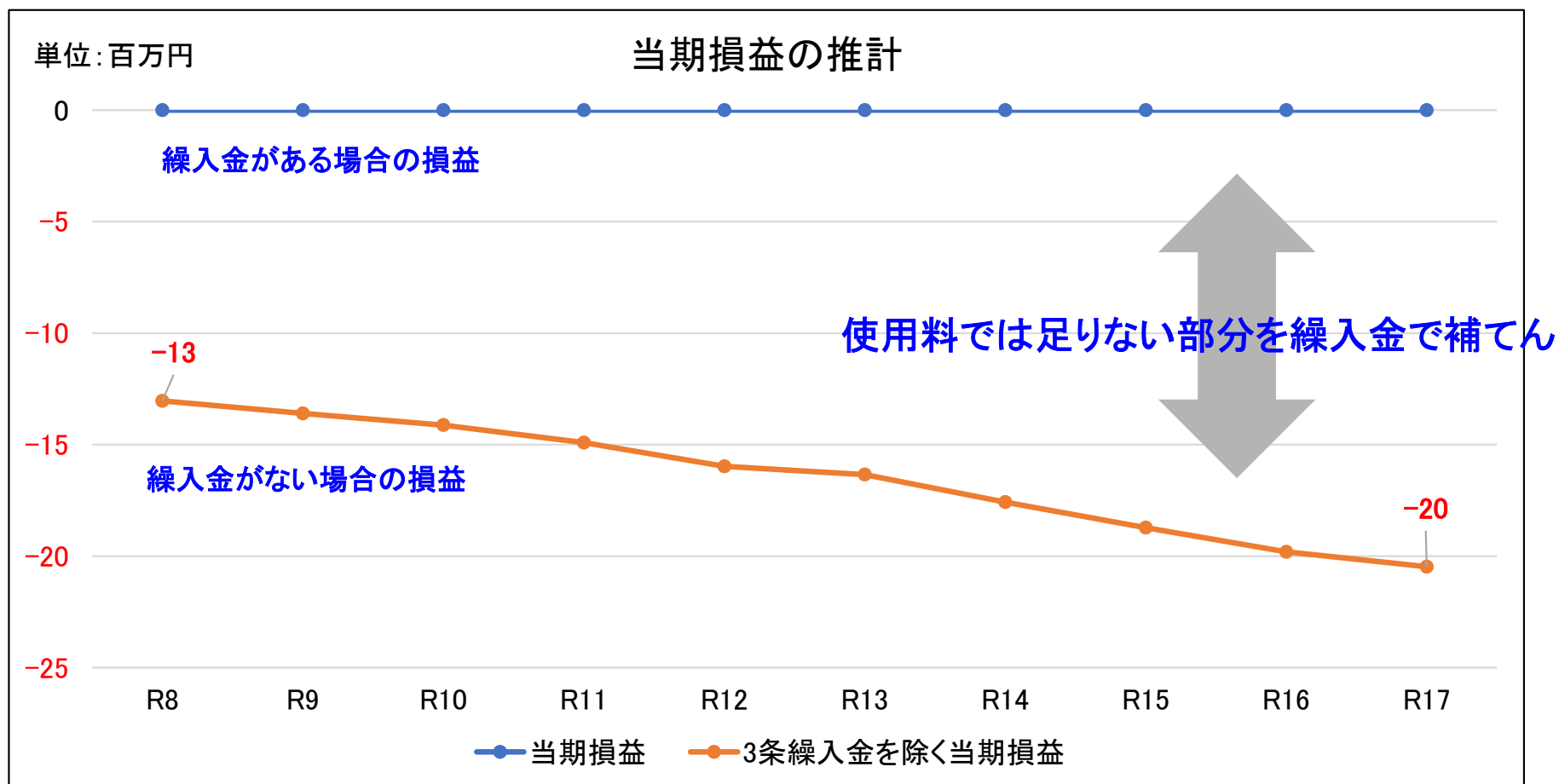
- 令和8年度以降、単年度の資金収支不足分に対して資本費平準化債を発行していますが、資金残高は減少していく見込みです



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【農集】当期損益の推計(現状の見通し)

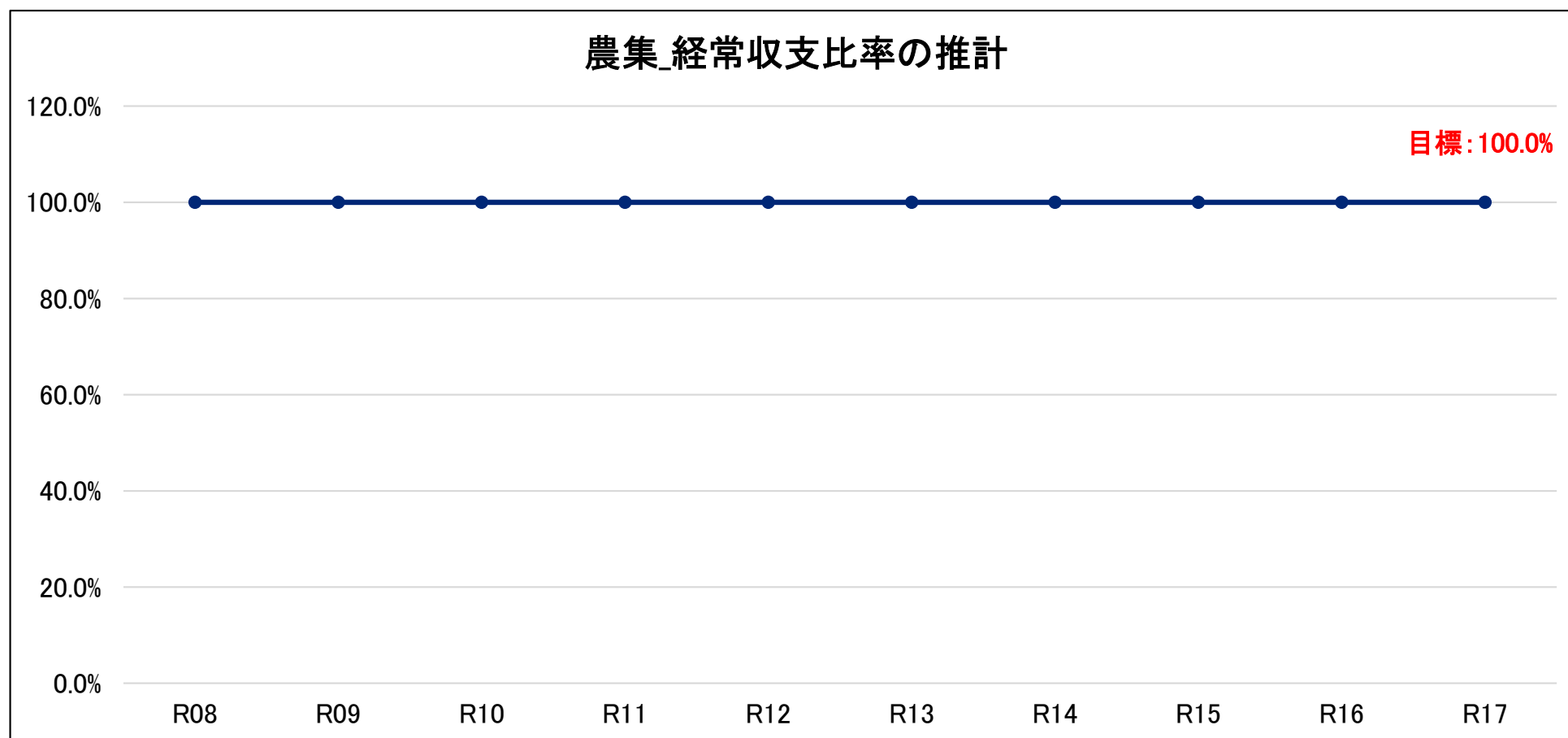
- 農業集落排水では赤字分を3条基準外の繰入金としてもらっているため、当期損益の推計は令和8年度から17年度まではゼロの見込みです
- 基準外の繰入金なしでは、当期損益の赤字は継続し、赤字幅は増加していく見込みです



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【農集】経常収支比率の推計(現状の見通し)

- 現状の見通しの試算では、計画期間を通じて、財源目標である100%となる見込みです
- しかしながら、経常収支比率が100%以上となっているのは、基準外の繰入金によるものであり、次ページの経費回収率で見るように、使用料で費用を回収できておらず、経営上の課題があります

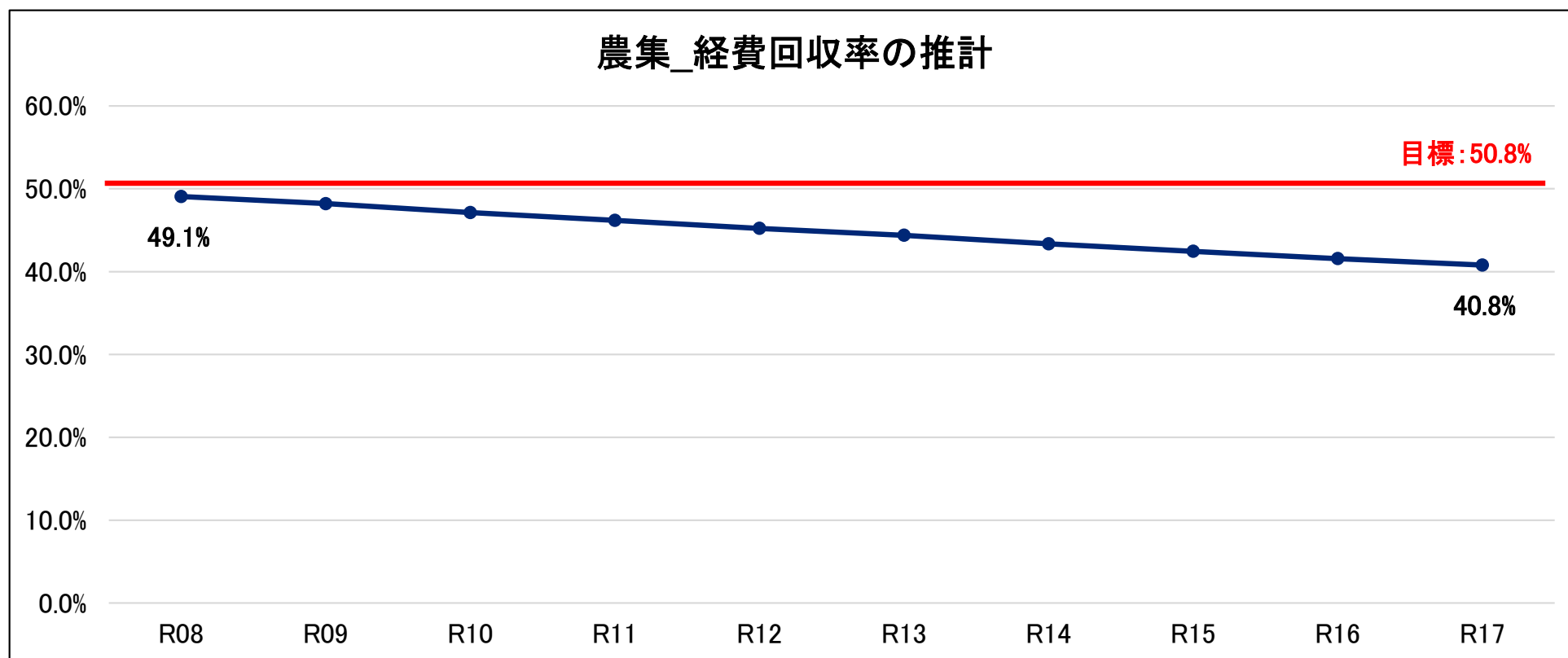




## 5 投資・財政計画(案)について

### 【農集】経費回収率の推計(現状の見通し)

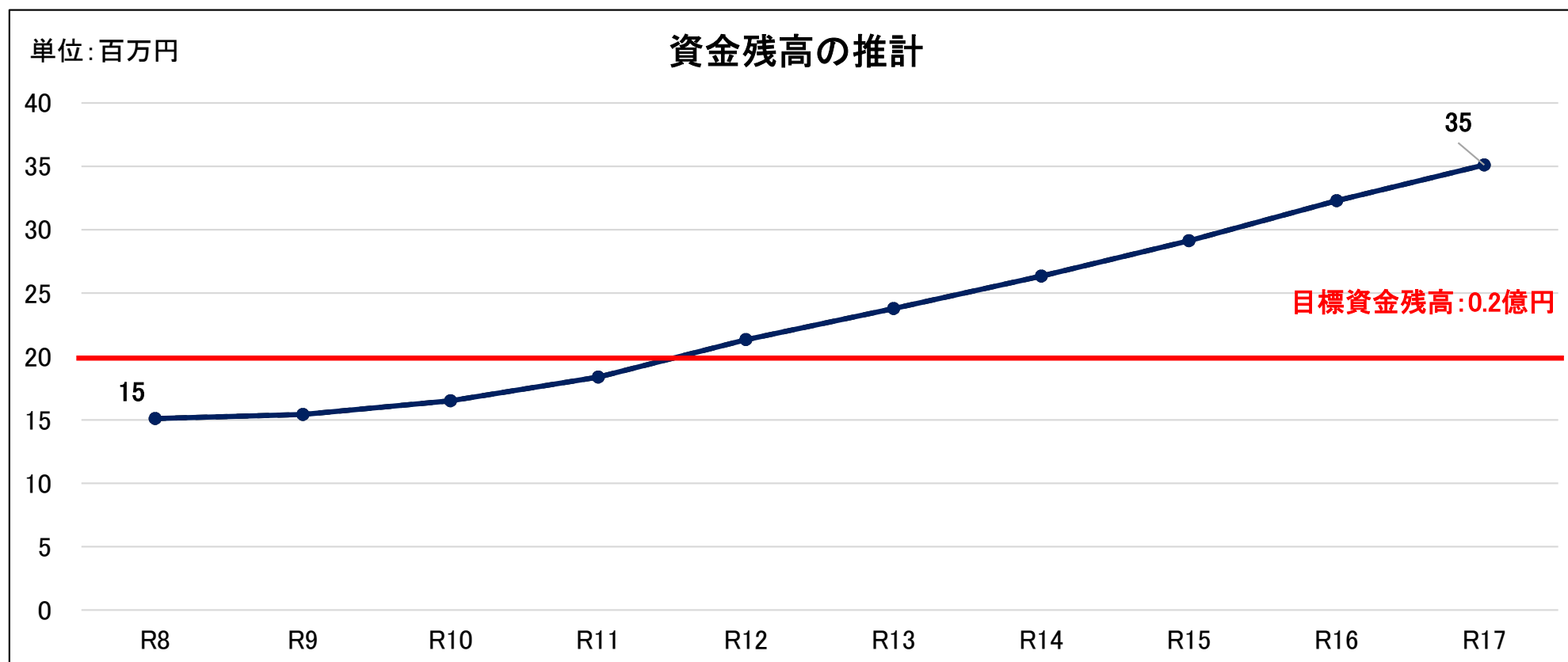
- 農業集落排水では、汚水処理に要する費用の半分程度も使用料で回収できないことが見込まれます
- 現状の見通しの試算では、経費回収率は令和8年度以降、財源目標である50.8%を下回る見込みとなりました



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【農集】資金残高の推計(現状の見通し)

- 令和8年度以降、資金残高は増加していくことが見込まれます
- これは、建設改良や企業債償還があまりなく、基準外の一般会計からの繰入金等が入っていることによるものであり、経営改善によるものではありません



## 5 投資・財政計画(案)について

### 現状の見通しの試算結果まとめ

- 現状の見通しの試算では、公共では目標の財源指標のすべて、農集では経費回収率が、直近10年以内に目標未達となる見込みです
- 下水道事業全体で15%の使用料改定を行うことで、直近10年以内は目標を達成する見込みです
- 今後の経営健全化のためには、少なくとも下水道事業全体で15%の使用料改定が必要となります

※実際の改定率の検討にあたっては、下水道事業全体とするか、事業別とするか、今後検討していく必要があります

指標名	目標(公共)	現状の見通し (R17時点)	目標(農集)	現状の見通し (R17時点)
経常収支比率	100.0 %以上	94.3%	100.0 %以上	100.0%
内部留保資金残高	9.5億円	0.5億円	0.2億円	0.4億円
経費回収率	100.0 %以上	86.7%	R6実績以上(50.8%)	40.8%

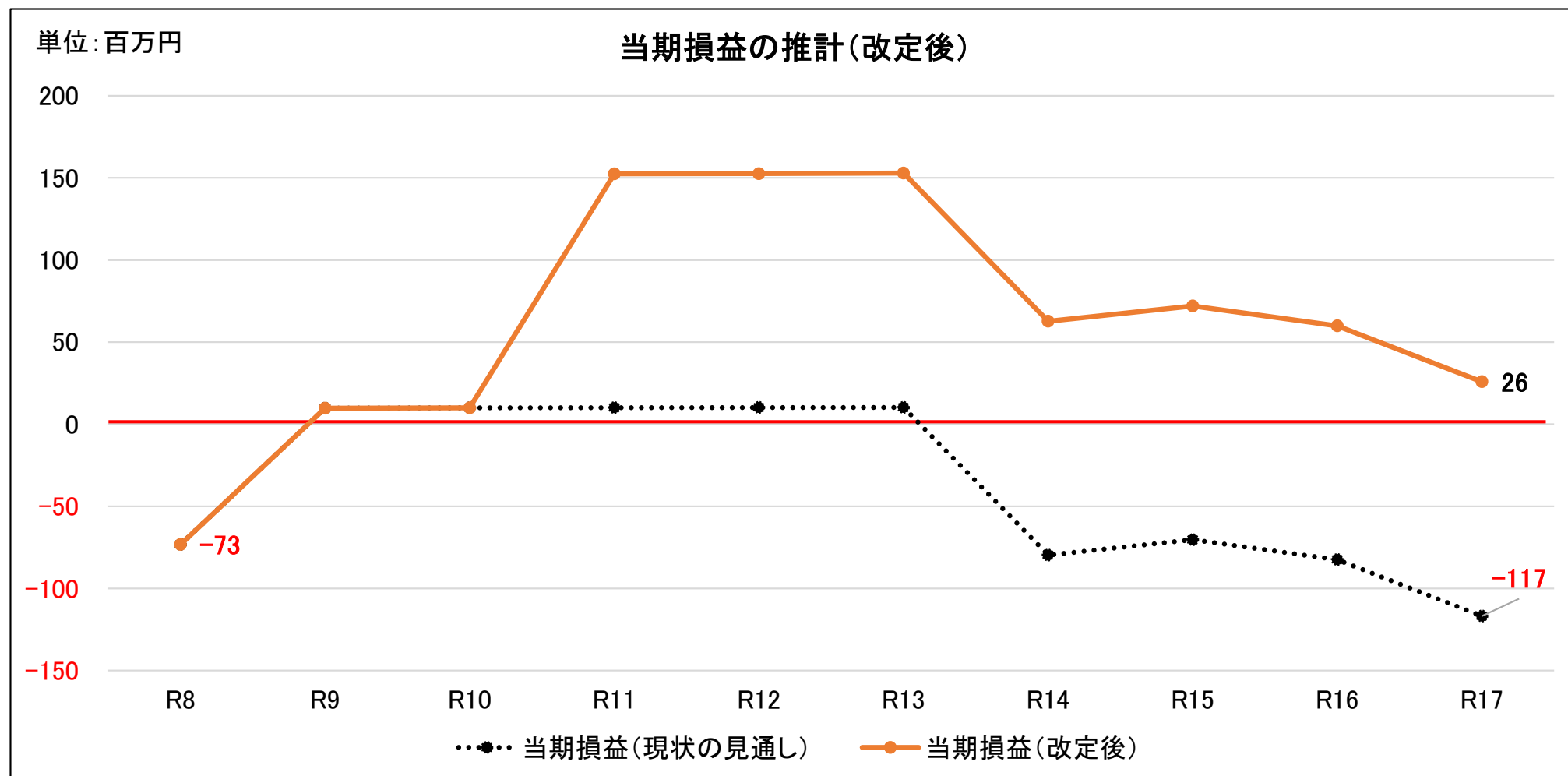
目標達成のためには、15%の使用料改定が必要

指標名	目標(公共)	使用料改定 (R17時点)	目標(農集)	使用料改定 (R17時点)
経常収支比率	100.0 %以上	101.3%	100.0 %以上	104.3%
内部留保資金残高	9.5億円	9.8億円	0.2億円	0.5億円
経費回収率	100.0 %以上	99.7%	R6実績以上(50.8%)	51.0%

## 5 投資・財政計画(案)について

### 【公共】当期損益の推移(改定後)

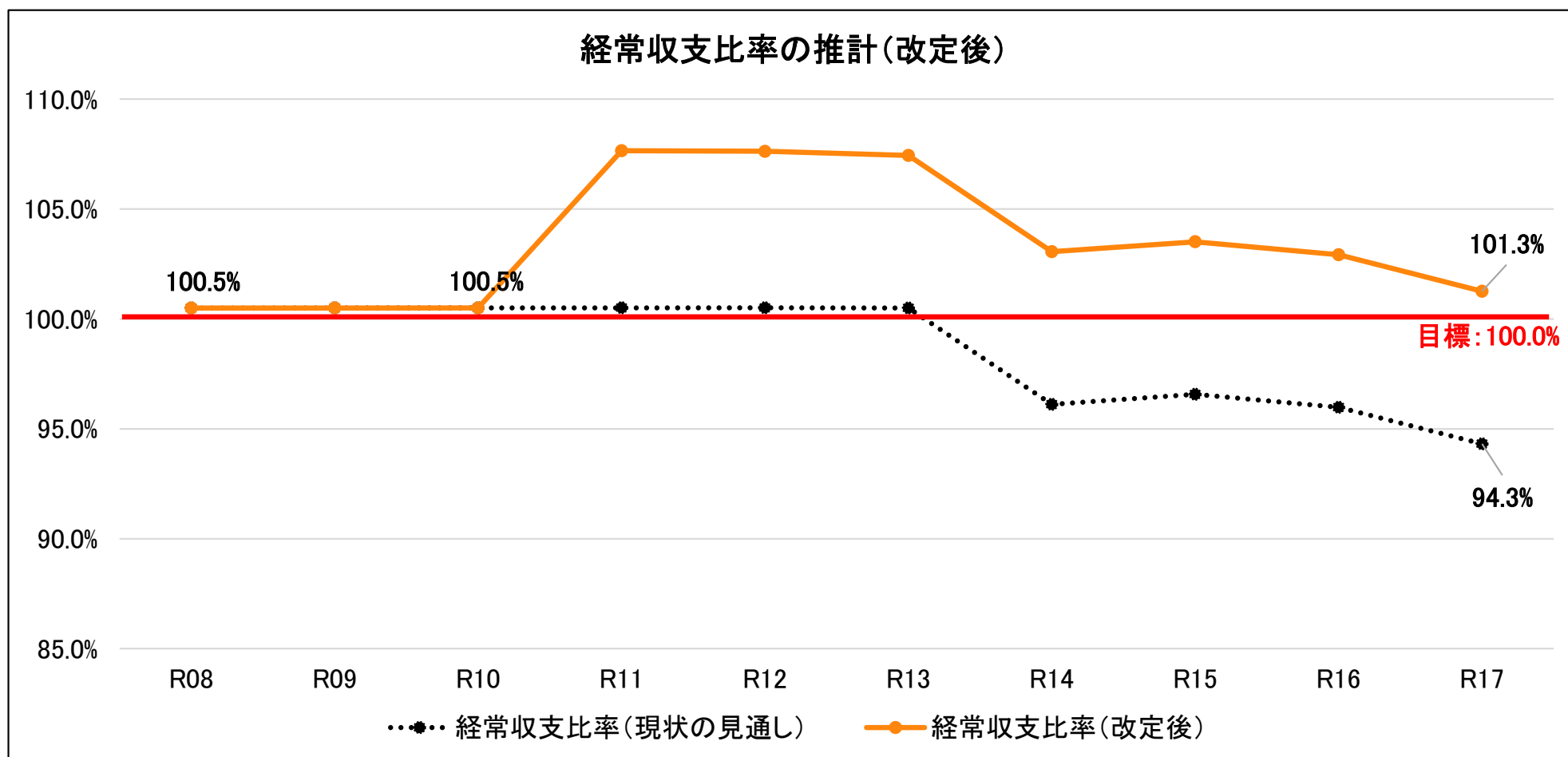
- 使用料改定を実施する場合、令和8年度を除き計画期間中は黒字で推移する見込みです  
※使用料改定は令和11年度に実施と仮定しています(以下同様)



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【公共】経常収支比率の推計(改定後)

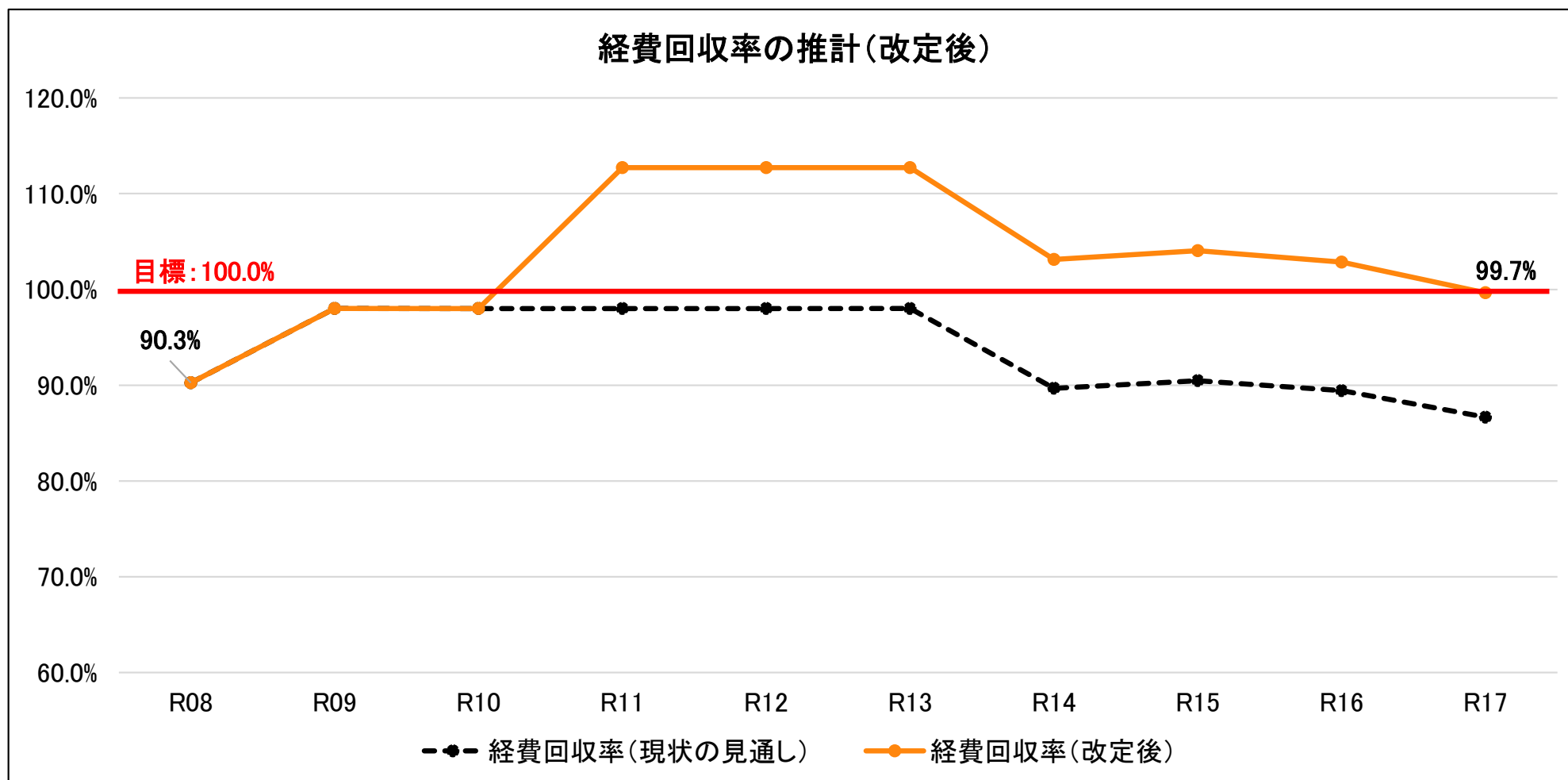
- 使用料改定を実施する場合、直近10年間は財源目標である経常収支比率100%以上を維持できる見込みです



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【公共】経費回収率の推計(改定後)

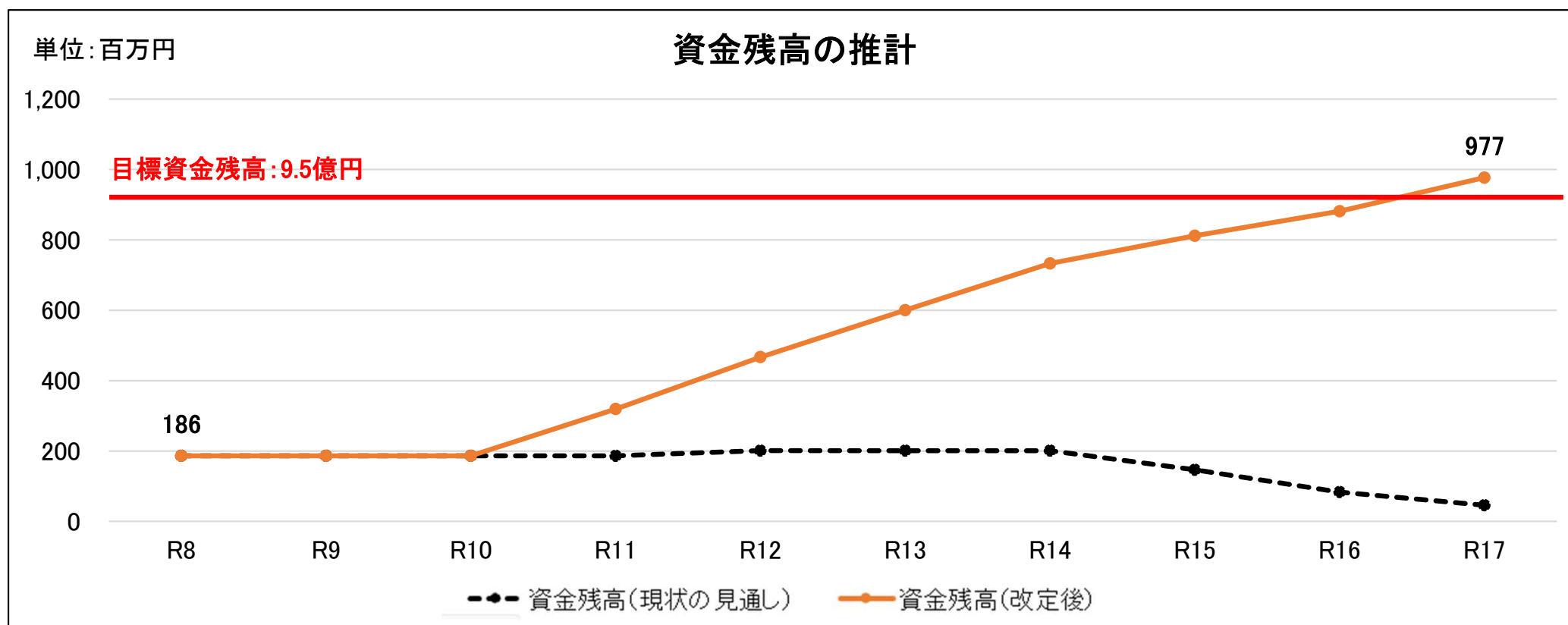
- 使用料改定を実施する場合、直近10年間は財源目標である経費回収率100%を概ね維持できる見込みです
- なお、改定後の経費回収率の算定にあたっては、現状の見通しの場合と同じ繰入金の水準と仮定して算定しています



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【公共】資金残高の推移(改定後)

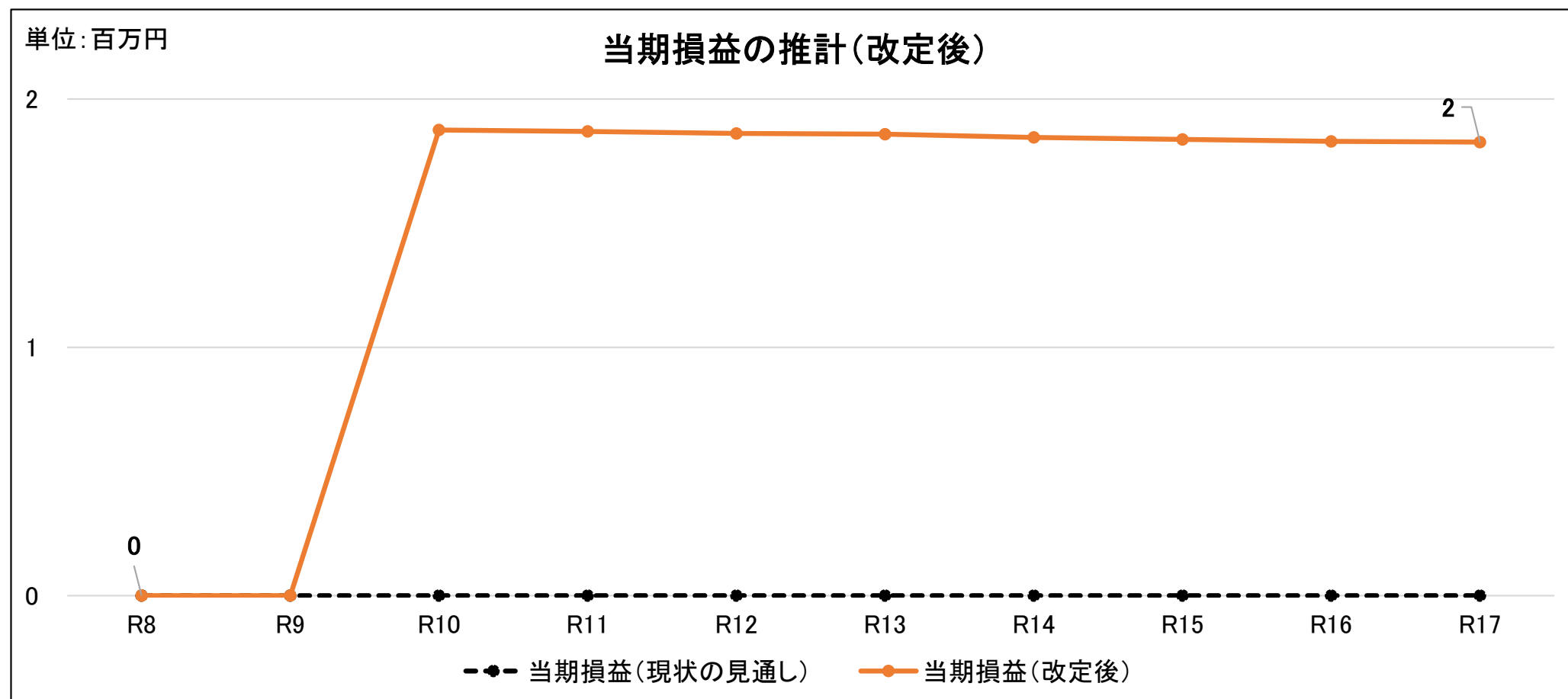
- 使用料改定を実施する場合、資金残高は年々増加し、R17年度には目標の10億円程度の水準となる見込みです
- なお、資本費平準化債の発行水準は現状の見通しの場合と同水準としています



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【農集】当期損益の推移(改定後)

- 使用料改定を実施する場合、当期損益は増加していく見込みとなりました
- なお、農業集落排水では、現状の見通しにおいて、維持管理費の不足分を一般会計から基準外の繰入金としてもらっています。使用料改定により、基準外の繰入を抑制することができますが、以下のグラフ上では、繰入金の水準は現状の見通しの場合と同額としています

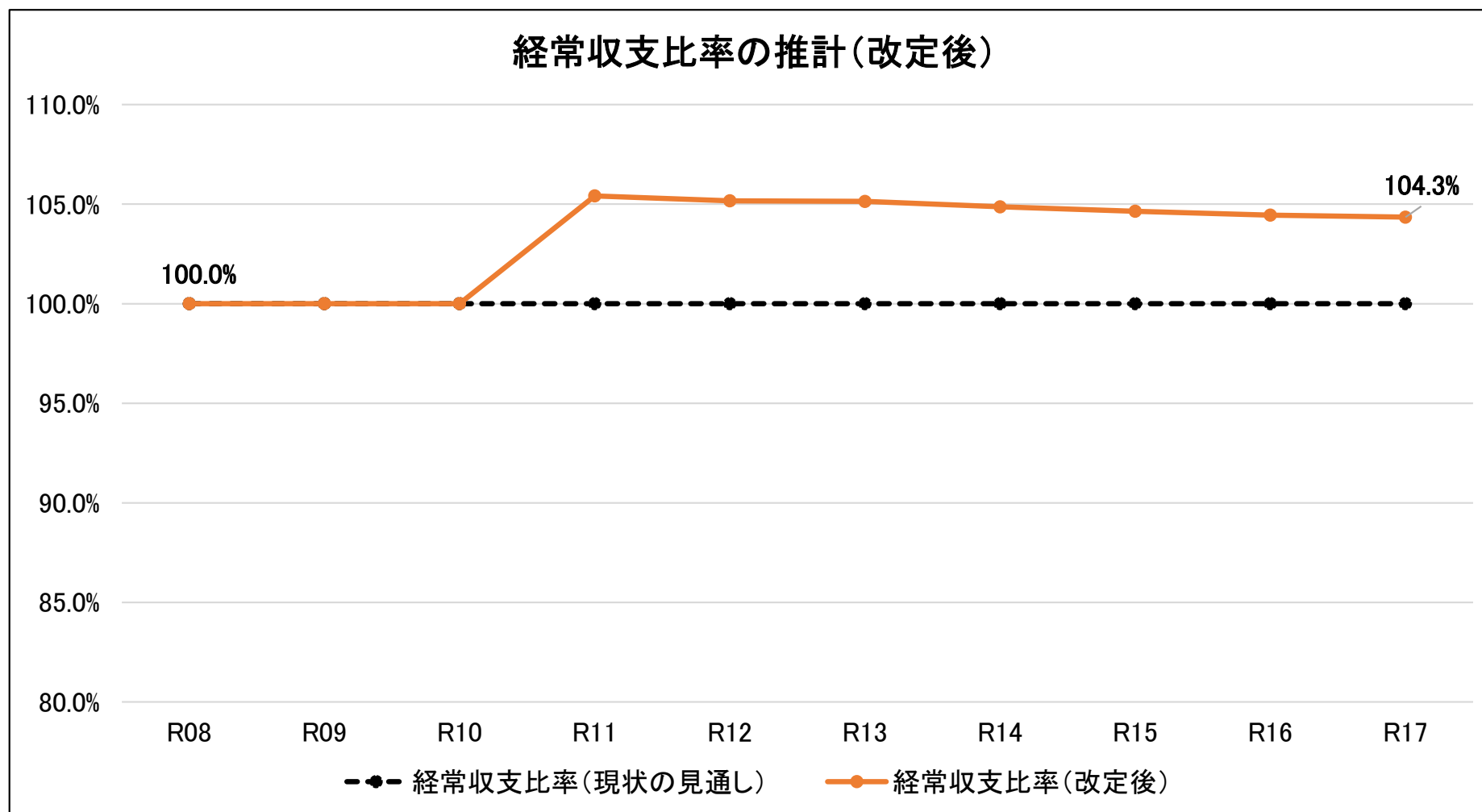




## 5 投資・財政計画(案)について

### 【農集】経常収支比率の推計(改定後)

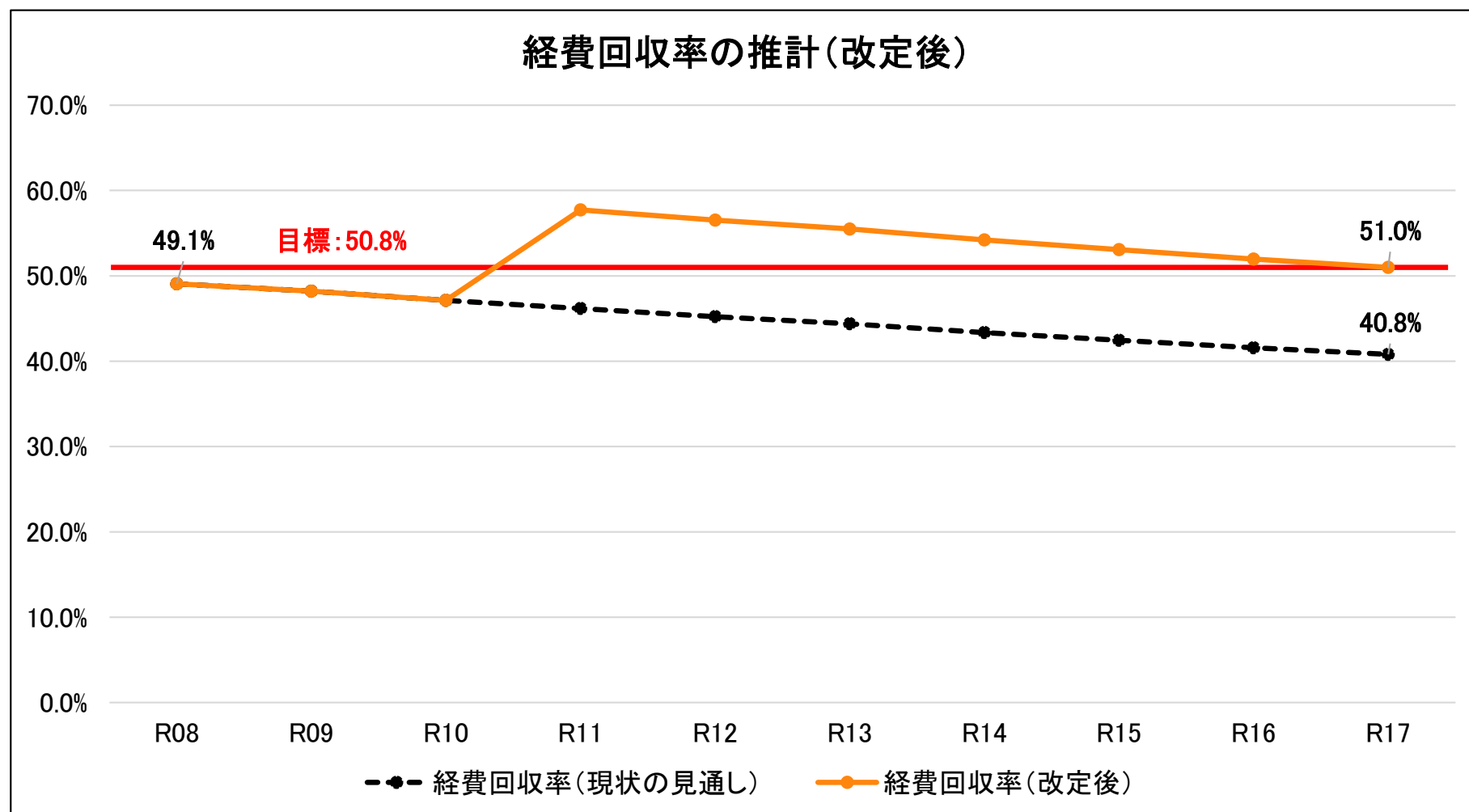
- 使用料改定を実施する場合、直近10年間は財源目標である経常収支比率100%以上を維持できる見込みです



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【農集】経費回収率の推計(改定後)

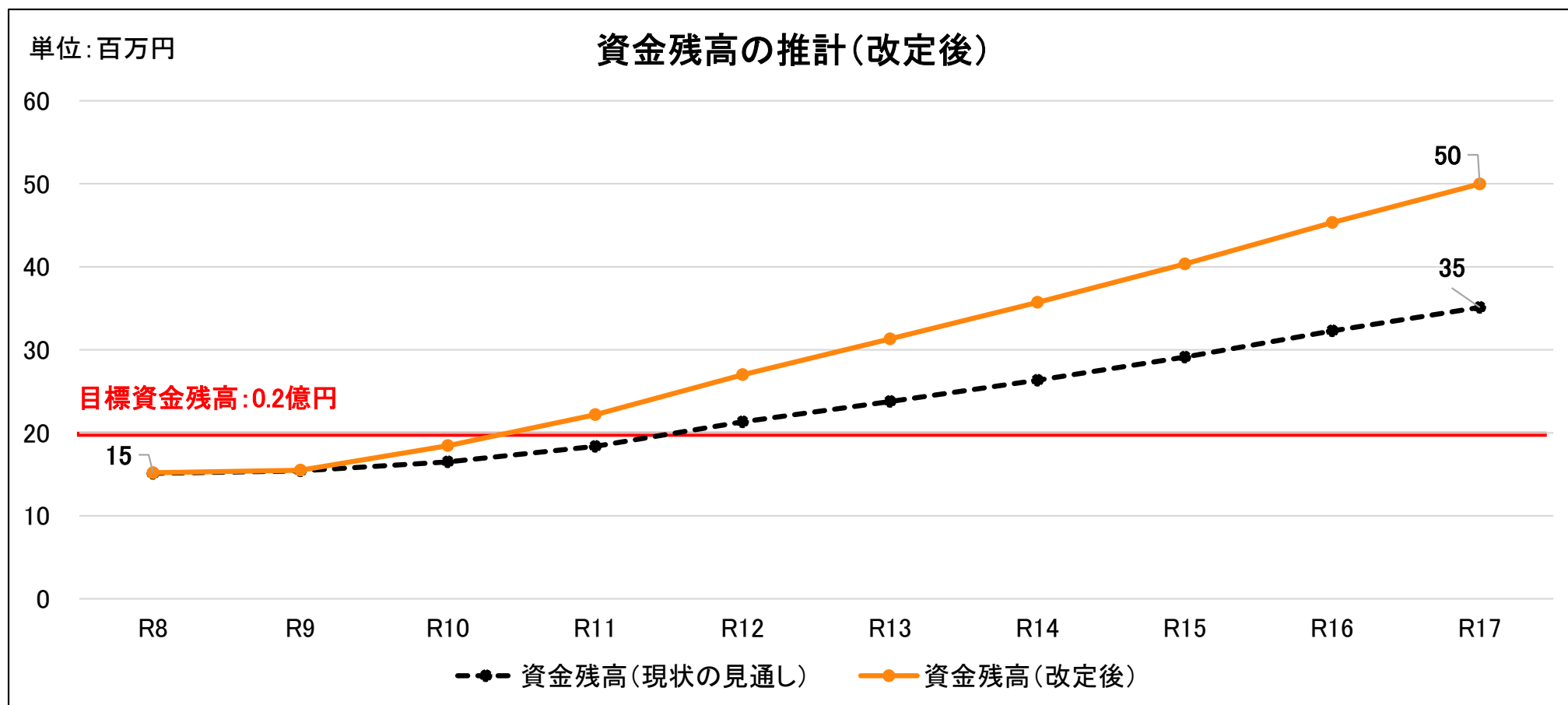
- 使用料改定を実施する場合、直近10年間は財源目標である経費回収率50.8%以上を維持できる見込みです
- なお、改定後の経費回収率の算定にあたっては、現状の見通しと同じ繰入金の水準と仮定して算定しています



## 5 投資・財政計画(案)について

### 【農集】資金残高の推移(見直し後)

- 使用料改定を実施する場合、資金残高は年々増加する見込みになります
- しかしながら、繰入金で維持管理費等を補てんできている間は資金が増加していく見込みですが、今後、繰入金が減少した場合、経費回収率が低いことから、資金残高は減少していくことになります



## 6 原価計算について

## 6 原価計算について

【公共＋農集】原価計算（現状の見通し） 計算期間：令和8～12年度

- 原価計算に、資産維持費を加味して経費回収率100%を達成するには、約29%の使用料の増加が必要になります
- 資産維持費は機能向上や物価高騰に備えるため、使用料対象経費に設定されるもので、「下水道使用料算定の基本的考え方」に基づき、50年間の投資・財政計画の減価償却費から長期前受金戻入を控除した金額の半分程度の使用料で回収するという方針で設定しています

原価計算表				
収入の部				
項 目	最近1箇年間の実績	投資・財政計画計上額(A)	公費負担分(B)	使用料対象収支(A) - (B)
	千円	千円	千円	千円
使用料(X)	952,230	957,801		957,801
受託工事収益	0	0		0
その他の	87,930	56,937		56,937
合計	1,040,160	1,014,739	0	1,014,739
支出の部				
項 目	最近1箇年間の実績	投資・財政計画計上額(A)	公費負担分(B)	使用料対象収支(A) - (B)
	千円	千円	千円	千円
職員給与費	63,523	66,637		66,637
動力費	3,128	3,427	0	3,427
薬品費	0	0		0
委託費	86,492	99,658		99,658
修繕費	10,721	11,609		11,609
経材費	313	339		339
流域下水道管理運営負担金	312,449	403,580		403,580
資産減耗費	1,919	1,919		1,919
その他営業費用	15,878	17,194	299	16,895
その他営業外費用	10,406	10,406		10,406
その他の	0	0	0	0
減価償却費	1,254,519	1,263,214	1,030,493	232,721
支払利息	156,022	138,848	544	138,304
小計	1,915,370	2,016,831	1,031,336	985,495
合計(Y)	1,915,370	2,016,831	1,031,336	985,495
資産維持費(Z)				250,103
使用料対象経費(Y) + (Z)				1,235,598
(X) / ((Y) + (Z)) * 100 =				77.5%

使用料：9.6億円

使用料の不足：  
▲2.8億円

**+29%**  
の使用料収入増加が必要

料金対象経費：12.4億円

## 7 今後のスケジュール

## 7 今後のスケジュール

### 各回の議題内容(案)

今回

	第1回	第2回	第3回
開催日	令和7年8月19日	令和7年11月頃	令和8年2月頃
主目的	近江八幡市下水道経営戦略の見直し ー本市下水道事業の現状と課題ー	経営の基本方針と取組施策 ー中長期の投資・財政試算ー	持続可能な下水道事業経営のための下 水道経営戦略
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①下水道事業経営戦略の改定趣旨について</li> <li>②水道事業及び経営状況の概要について</li> <li>③経営の現状分析について</li> <li>④将来の事業環境について</li> <li>⑤下水道事業の課題と今後の対応策について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本市水道事業の基本方針と目標について</li> <li>②今後の取組施策について</li> <li>③投資・財政計画(案)について</li> <li>④原価計算について</li> </ul> <p>※第2回審議会後、下水道経営戦略の素案を作成し、12月～1月頃にパブリックコメントを実施し、広く意見を募集する予定としております</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①経営戦略(案)について</li> </ul>

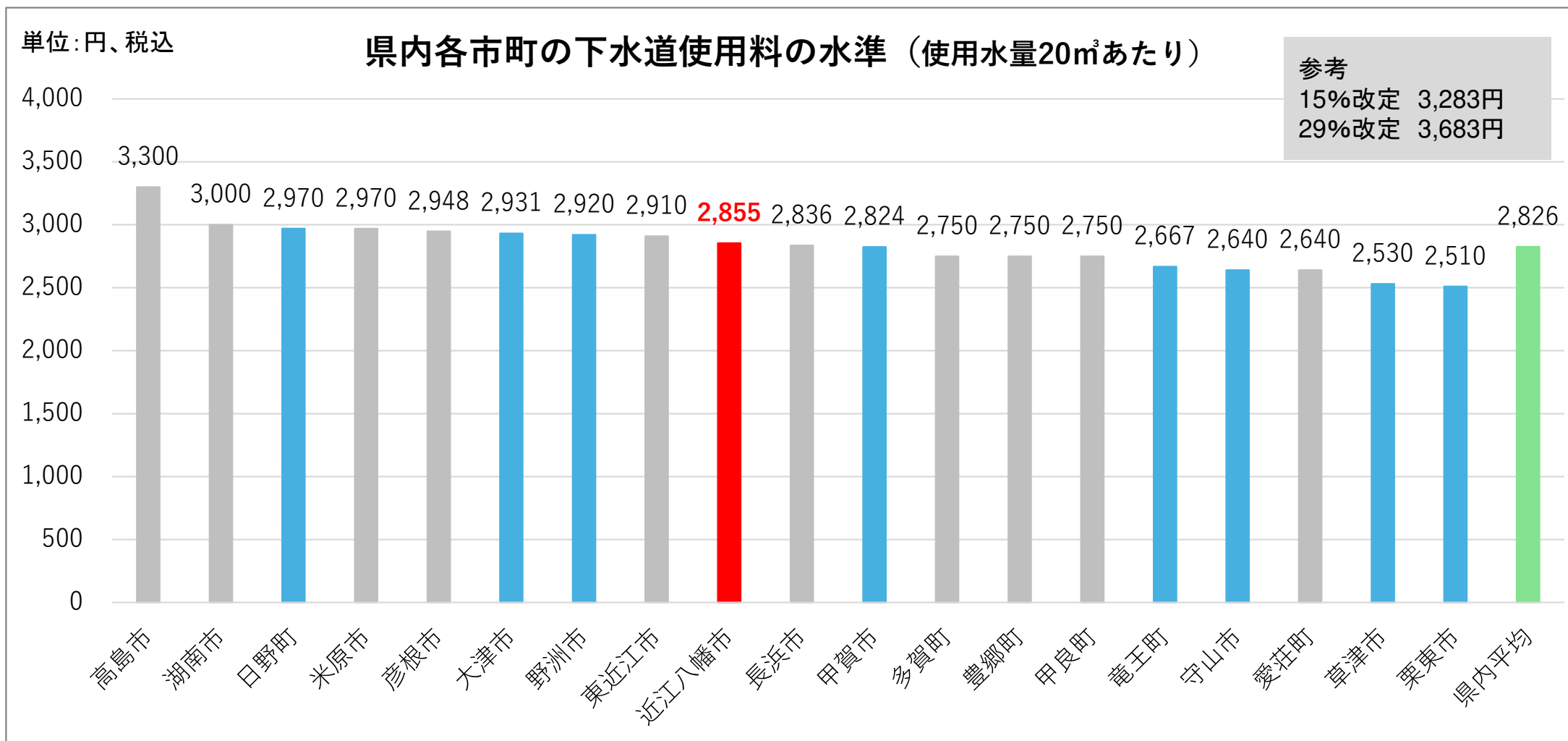
各回の内容は現時点での予定のため、今後の運営委員会での意見等を踏まえて、変更となる可能性があります

## 参考資料



# 県内各市町の下水道使用料の水準（使用水量20m³あたり）

- 現在の料金水準は、県内平均とほぼ同水準となっています。
- 15%の使用料改定を行うことで、下水道使用料（20m³/月）は3,283円となり、高島市に次いで県内2番目となります



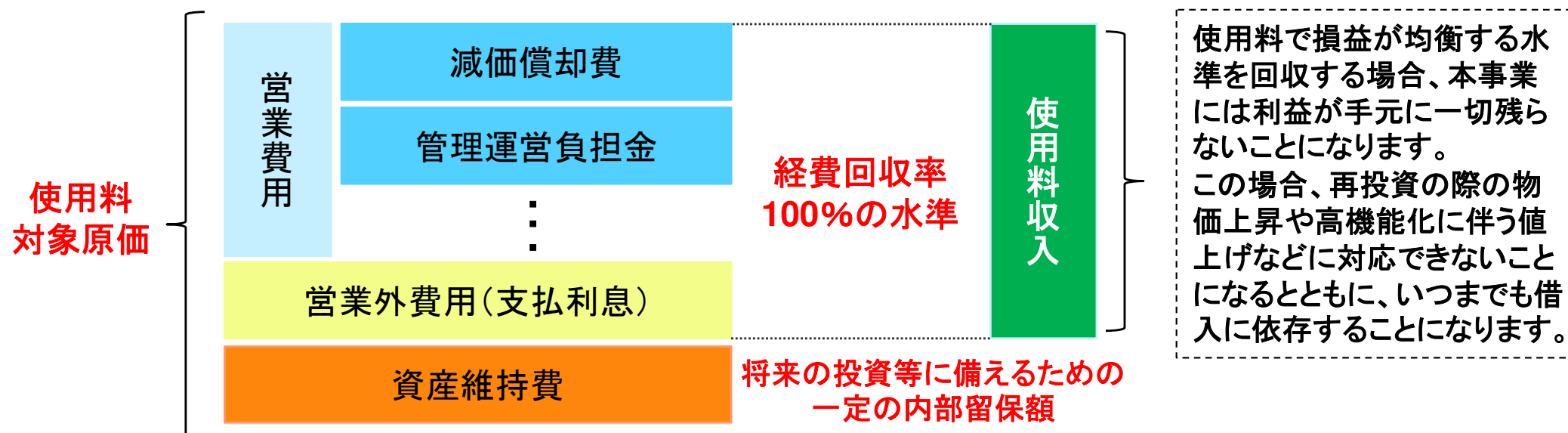
■ 湖南中部処理区管内

# 資産維持費について

## 資産維持費について

- 総括原価方式で原価を算定する場合、資産維持費という項目を見積もります
- 資産維持費とは、将来の更新需要が新設当時と比較し、施工環境の悪化、高機能化(耐震化等)により増大することが見込まれる場合、使用者負担の期間的公平等を確保する観点から、実体資本を維持し、サービスを継続していくために必要な費用として、適切かつ効率的、効果的な中長期の改築(更新)計画に基づいて、算定するものである

(出所:公益社団法人日本下水道協会「下水道使用料算定の基本的考え方」)



# シミュレーション結果（現状の見通し）

## 【公共】収益的収支

単位：千円

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
営業収益										
使用料収入	946,932	957,190	948,588	949,390	949,383	951,960	949,317	949,259	949,183	951,412
雨水処理負担金	79,182	57,720	50,625	45,903	45,532	39,945	38,559	14,052	10,714	10,637
その他の営業収益	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145
営業外収益										
他会計補助金	426,574	415,723	465,613	472,294	476,886	534,881	442,601	480,327	472,217	438,040
長期前受金戻入	531,232	528,873	528,054	530,270	534,536	536,128	535,079	533,402	532,186	533,164
その他の営業外収益	3,808	3,808	3,808	3,808	3,808	3,808	3,808	3,808	3,808	3,808
収益的収入 合計	1,988,873	1,964,459	1,997,832	2,002,810	2,011,290	2,067,866	1,970,510	1,981,992	1,969,254	1,938,206
営業費用										
人件費	60,666	61,394	62,131	62,876	63,631	64,395	65,167	65,949	66,741	67,542
委託費	113,378	85,045	86,746	88,481	90,251	92,056	93,897	95,775	97,690	99,644
管理運営負担金	380,412	383,282	417,849	418,180	418,177	459,983	459,965	459,938	459,904	459,736
減価償却費	1,242,474	1,240,373	1,241,629	1,248,368	1,258,385	1,273,228	1,264,607	1,262,171	1,262,787	1,267,234
その他経費	29,154	29,713	30,257	30,825	31,403	31,996	32,594	33,207	33,833	34,475
営業外費用										
支払利息	143,266	145,103	139,438	134,227	129,487	126,244	124,176	125,530	120,994	116,633
その他の営業外費用	9,775	9,775	9,775	9,775	9,775	9,775	9,775	9,775	9,775	9,775
特別損失										
特別損失	83,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益的支出 合計	2,062,125	1,954,685	1,987,825	1,992,732	2,001,108	2,057,677	2,050,180	2,052,345	2,051,723	2,055,038
最終損益	▲73,252	9,774	10,008	10,078	10,182	10,189	▲79,669	▲70,353	▲82,469	▲116,832

# シミュレーション結果(現状の見通し)

## 【公共】資本的収支

単位:千円

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
資本的収入										
企業債	896,901	516,506	489,238	472,668	541,600	555,760	656,935	379,448	303,900	157,000
うち平準化債	486,421	46,436	10,213	64,638	0	198,070	221,665	61,968	0	0
他会計出資金	397,235	555,858	451,103	280,661	252,831	28,604	0	0	0	0
国（県）補助金	73,540	129,245	127,625	172,325	156,075	106,575	218,175	72,325	100,625	75375
その他収入	0	6,413	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出										
建設改良費	321,349	423,475	394016.08	456,744	580,200	451,607	646,930	403,296	455,276	400,758
企業債償還金	1,684,623	1,514,533	1,406,381	1,213,177	1,120,501	1,014,887	916,482	790,737	692,390	515,485
その他支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収支不足額	▲638,296	▲729,985	▲732,431	▲744,268	▲750,195	▲775,555	▲688,302	▲742,260	▲743,141	▲683,869

# シミュレーション結果(現状の見通し)

## 【農集】収益的収支

単位:千円

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
営業収益										
使用料収入	7,554	7,548	7,502	7,476	7,444	7,432	7,380	7,348	7,317	7,303
雨水処理負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外収益										
他会計補助金	13,038	13,599	14,122	14,906	15,972	16,340	17,575	18,721	19,805	20,476
長期前受金戻入	10,789	11,078	11,256	11,573	12,067	11,851	12,436	12,970	13,461	13,681
その他の営業外収益	551	551	551	551	551	551	551	551	551	551
収益的収入 合計	31,932	32,777	33,432	34,506	36,034	36,174	37,942	39,590	41,133	42,011
営業費用										
人件費	4,391	4,443	4,497	4,550	4,605	4,660	4,716	4,773	4,830	4,888
委託費	6,609	6,741	6,876	7,013	7,153	7,296	7,442	7,591	7,743	7,898
管理運営負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	15,933	16,462	16,807	17,384	18,256	17,764	18,790	19,731	20,601	21,021
その他経費	4,066	4,146	4,215	4,292	4,369	4,452	4,525	4,606	4,688	4,777
営業外費用										
支払利息	303	354	406	636	1,020	1,370	1,838	2,258	2,640	2,796
その他の営業外費用	631	631	631	631	631	631	631	631	631	631
収益的支出 合計	31,932	32,777	33,432	34,506	36,034	36,174	37,942	39,590	41,133	42,011
最終損益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

# シミュレーション結果(現状の見通し)

## 【農集】資本的収支

単位:千円

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
資本的収入										
企業債	9,200	5,700	10,100	15,800	14,000	18,700	17,100	15,700	7,000	6,900
うち平準化債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計出資金	7,641	3,021	153	146	146	146	0	0	0	0
国（県）補助金	15,912	9,792	17,424	27,144	24,120	32,184	29,376	27,000	12,096	11,952
資本的支出										
建設改良費	29,120	18,956	31,713	47,950	42,947	56,425	51,784	47,863	23,063	22,864
企業債償還金	8,777	4,941	1,480	714	0	0	269	443	750	1,231
その他支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収支不足額	▲5,144	▲5,384	▲5,515	▲5,573	▲4,681	▲5,395	▲5,577	▲5,606	▲4,717	▲5,243

# シミュレーション結果(現状の見通し)

## 【公共+農集】収益的収支

単位:千円

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
営業収益										
使用料収入	954,486	964,739	956,089	956,866	956,827	959,392	956,697	956,607	956,500	958,715
雨水処理負担金	79,182	57,720	50,625	45,903	45,532	39,945	38,559	14,052	10,714	10,637
その他の営業収益	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145	1,145
営業外収益										
他会計補助金	439,612	429,322	479,735	487,200	492,858	551,221	460,177	499,048	492,022	458,516
長期前受金戻入	542,021	539,952	539,311	541,843	546,603	547,978	547,515	546,372	545,647	546,845
その他の営業外収益	4,359	4,359	4,359	4,359	4,359	4,359	4,359	4,359	4,359	4,359
収益的収入 合計	2,020,804	1,997,236	2,031,264	2,037,316	2,047,324	2,104,040	2,008,452	2,021,582	2,010,387	1,980,217
営業費用										
人件費	65,057	65,837	66,627	67,427	68,236	69,055	69,884	70,722	71,571	72,430
委託費	119,986	91,786	93,622	95,494	97,404	99,352	101,339	103,366	105,433	107,542
管理運営負担金	380,412	383,282	417,849	418,180	418,177	459,983	459,965	459,938	459,904	459,736
減価償却費	1,258,407	1,256,836	1,258,436	1,265,752	1,276,641	1,290,992	1,283,396	1,281,902	1,283,388	1,288,255
その他経費	33,220	33,858	34,472	35,117	35,771	36,448	37,119	37,813	38,521	39,252
営業外費用										
支払利息	143,569	145,457	139,844	134,862	130,507	127,614	126,013	127,788	123,634	119,429
その他の営業外費用	10,406	10,406	10,406	10,406	10,406	10,406	10,406	10,406	10,406	10,406
特別損失										
特別損失	83,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益的支出 合計	2,094,057	1,987,462	2,021,256	2,027,238	2,037,142	2,093,851	2,088,122	2,091,935	2,092,856	2,097,049
最終損益	▲73,252	9,774	10,008	10,078	10,182	10,189	▲79,669	▲70,353	▲82,469	▲116,832

# シミュレーション結果(現状の見通し)

## 【公共+農集】資本的収支

単位:千円

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
資本的収入										
企業債	906,101	522,206	499,338	488,468	555,600	574,460	674,035	395,148	310,900	163,900
うち平準化債	486,421	46,436	10,213	64,638	0	198,070	221,665	61,968	0	0
他会計出資金	404,877	558,879	451,256	280,807	252,977	28,750	0	0	0	0
国（県）補助金	89,452	139,037	145,049	199,469	180,195	138,759	247,551	99,325	112,721	87,327
その他収入	0	6,413	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出										
建設改良費	350,469	442,431	425,729	504,694	623,146.93	508,032	698,714	451,159	478,339	423,622
企業債償還金	1,693,400	1,519,474	1,407,861	1,213,891	1,120,501	1,014,887	916,751	791,180	693,140	516,716
その他支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資本的収支不足額	▲643,439	▲735,369	▲737,946	▲749,841	▲754,876	▲780,951	▲693,879	▲747,866	▲747,858	▲689,111